

2018[平成30]年度

入学試験要項

- 一般入試
- 大学入試センター試験利用入試(前期)
- 一般・センター併用型入試
- 大学入試センター試験利用入試(後期)



I 教育の理念とアドミッション・ポリシー 1**II 一般入試** 9

1	入試日程	10
2	出願期間	10
3	試験教科・科目、配点、時間	10
4	募集人員	11
5	出願資格	12
6	出願書類	12
7	入学検定料	13
8	出願上の注意	13
9	受験上の注意	14
10	受験票交付・見本	14
11	試験場	14
12	試験場での注意事項	15
13	試験時間中の所持品の取扱いについて	15
14	試験問題の解答方法	16
15	試験実施に関する情報	16
16	合否判定について	16
17	合格者発表	16
18	入学手続	17
19	納入金	17
20	一般入試における特別選考について 一般入試特別選考申込書	18
21	一般入試の成績開示について 成績開示請求書記入例 成績開示請求書	21
22	試験場への交通案内	25
23	学内見取図	28
その他	宿泊案内 入学時給付奨学金制度について	29 64

III 大学入試センター試験利用入試（前期） 33

1	出願期間	34
2	募集人員および試験教科・科目、 配点、総点	34
3	選考方法	35
4	出願資格	35
5	出願書類	36
6	入学検定料	36
7	出願上の注意	36
8	受験票交付・見本	37
9	合格者発表	37
10	入学手続	38
11	納入金	38
その他	入学時給付奨学金制度について	64

IV 一般・センター併用型入試 39

1	出願の対象者と出願条件	40
2	出願期間	40
3	センター試験の「地理歴史」、「公民」および「理科」 の採用方法について	40
4	募集人員および試験教科・科目、 配点、総点	41
5	出願資格	44
6	出願書類	44
7	入学検定料	45
8	出願上の注意	45
9	受験票交付・見本	45
10	合否判定について	45
11	合格者発表	46
12	入学手続	46
13	納入金	47
その他	入学時給付奨学金制度について	64

V 大学入試センター試験利用入試（後期） 49

1	出願期間	50
2	募集人員および試験教科・科目、 配点、総点	50
3	選考方法	51
4	出願資格	51
5	出願書類	52
6	入学検定料	52
7	出願上の注意	52
8	受験票交付・見本	53
9	合格者発表	53
10	入学手続	54
11	納入金	54
その他	入学時給付奨学金制度について	64

VI 共通事項 55

1	インターネット出願手順について	56
2	受験票交付 受験票見本	60 61・62
3	納入金 受験生・保護者の皆様へ（入学金・授業料などの 振込みにあたって）	63 63
4	入学時給付奨学金制度について	64
5	災害等により被災された志願者への支援について	64
6	予備校コード表	65
7	個人情報の取扱いについて	66

西南学院は1916(大正5)年、米国南部バプテスト派の宣教師C.K.ドージャーによって創立されました。1949(昭和24)年には新制大学を開設し、今では幼稚園、保育所あわせて約1万人の学生・生徒・児童・園児が学ぶ総合学園に発展しました。

創立者の遺訓“Seinan, Be True to Christ”(西南よ、キリストに忠実なれ)は、建学の精神として受け継がれ、現在もキリスト教を教育の基本理念とし、深遠な学術研究とそれに立脚した教育を基盤に、学術文化の向上に寄与するとともに、地域、日本、そして世界に貢献できる教養豊かで深い専門知識と創造性を備えた人材を育成しています。



西南学院創立者 C.K.ドージャー

I 教育の理念とアドミッション・ポリシー(求める学生像)

神学部

神学科

教育の理念

神学部は、聖書やキリスト教思想・哲学・芸術を中心とする学びを通して、キリスト教精神の本質を究明するとともに、この精神を担い、日本、そして世界の精神文化の形成、倫理・道徳の向上、平和と福祉の促進に貢献する人間を育成するために、「神学コース」と「キリスト教人文学コース」の2コースを置き、キリスト教界の指導者、教会の伝道者・牧師などの専門職業人、並びにキリスト教精神を基盤として社会に貢献する人を養成することを目的とする。

アドミッション・ポリシー

1.求める学生像

神学科は、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)及び教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた者を求める。

- (1) 神学コースは、キリスト教界における指導的な役割(伝道者・牧師、宣教師、教会主事など)を明確な目標に置く者。
- (2) キリスト教人文学コースは、幅広い教養を身に付け、社会奉仕の精神を持つことを目指す者。
- (3) 両コースに共通のこととして、基礎的な学力を有し、歴史的、人文・社会的、国際的な文化への関心のある者。

2. 選抜方法

神学科では、前項で述べた資質を有する者を、以下の方法によって選抜する。

(1) 一般選抜(一般入試)

高等学校での学修の達成度をみるとともに、大学での学修に必要な基礎学力を有しているかを評価して判定する。

(2) 特別選抜(指定校推薦入試、併設高校からの推薦入試)

特別選抜では、高等学校において一定の基準の学力を修得したと認められる生徒の推薦を求める。また、神学部独自の指定先として、キリスト教学校教育同盟加盟高

校及び日本バプテスト連盟加盟教会から、神学部での学びに強い意欲と理解をもった者の推薦を受け入れる。特別選抜入試では受験者に小論文と面接を課しており、出願時の志望理由書を含めて、受験者の意欲・関心、理解力・思考力・表現力を総合的に評価して判定する。

(3) その他の選抜(外国人入試、帰国生入試)

多様な学びの背景を持つ学生を受け入れるために、外国人及び帰国生のための入試を実施する。一定の語学力を有することを確認したうえで、外国人入試では日本語による作文と面接、帰国生入試では日本語による小論文と面接を課すことにより、受験者の意欲・関心、理解力・思考力・表現力を総合的に評価して判定する。

文学部

教育の理念

文学部は、英語とフランス語に関する語学的知識の修得や実践的運用能力の養成を重視し、言語の本質や機能、英語圏やフランス語圏の文学・文化・社会のあり方、人間関係、等について豊かな識見を養うことによって、グローバルな視野に立って日本のみならず世界で活躍できる人材の育成を目的とする。

この目的のもとに、「英文学科」、「外国語学科英語専攻」、「外国語学科フランス語専攻」を置き、異なった社会・思想・人間のあり方を多様な観点から総合的に理解しつつ自己認識を深め、幅広い教養と高い見識、旺盛な知的好奇心、自発性と創造性、等を涵養するよう努める。

英文学科

教育の理念

英文学科は、英語、英米文学・文化の教育・研究を通して、実践的な英語運用能力、広く深い教養と専門知識、豊かな感性と想像力、等を陶冶することに努め、グローバル化した社会の要請に応じうる人材を育成することを目的とする。

アドミッション・ポリシー

1. 求める学生像

英文学科は、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)及び教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた者を求める。

- (1) 大学での学修に必要な基礎学力を有している者。
- (2) 英文学科のカリキュラムが提供する講義に積極的に参加できる者。
- (3) 英語の習得に高い関心を持つ者。
- (4) 英語圏の文学・文化、社会について知的好奇心を持つ者。

2. 選抜方法

英文学科では、前項で述べた資質を有する者を、以下の方法によって選抜する。

- (1) 一般選抜(一般入試、大学入試センター試験利用入試(前期・後期)、一般・センター併用型入試)
高等学校での学修の達成度をみるとともに、大学での学修に必要な基礎学力を有しているかを評価する。また、一般入試では英語の配点比率を高くし、更に基準点を設けることにより、英文学科において専門知識を修得するための英語力を有しているかどうかも含めて判定する。
- (2) 特別選抜(指定校推薦入試、公募制推薦入試、併設高校からの推薦入試)
特別選抜では、高等学校において一定の基準の学力を修得したと認められる生徒の推薦を求めるが、英文学科においては、更に英語の評定平均値や資格・検定試験のスコアなどを出願資格に加えることにより、特に英語に興味を持ち、その能力を維持発展させる意欲のある者を評価する。受験者には、小論文と面接を課しており、出願時の志望理由書を含めて、受験者の意欲・関心、理解力・思考力・表現力を総合的に評価して判定する。
- (3) その他の選抜(外国人入試、帰国生入試)
多様な学びの背景を持つ学生を受け入れるために、外国人及び帰国生のための入試を実施する。一定の語学力を有することを確認したうえで、外国人入試では日本語による作文と面接、帰国生入試では日本語による小論文と面接を課すことにより、受験者の意欲・関心、理解力・思考力・表現力を総合的に評価して判定する。

外国語学科 英語専攻

教育の理念

外国語学科英語専攻は、英語学・英語教育、コミュニケーション学、ビジネス英語、言語文化を教育・研究の柱とし、実践的な英語運用能力の育成を図るとともに、英語と文化や社会との関係を認識する能力を養い、英語の特性を科学的に分析する能力を涵養し、その研究成果を教育に活かす能力を育成し、社会の発展に寄与する自発的で創造性豊かな人材を育てることを目的とする。

アドミッション・ポリシー

1. 求める学生像

外国語学科英語専攻は、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)及び教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた者

を求める。

- (1) 大学での学修に必要な基礎学力を有している者。
- (2) 英語の基礎力を修得し、英語学習に積極的に取り組める者。
- (3) 異文化の他者と積極的にコミュニケーションする意欲を持つ者。
- (4) 自らの人間関係に関する好奇心と向上心を持つ者。

2. 選抜方法

外国語学科英語専攻では、前項で述べた資質を有する者を、以下の方法によって選抜する。

- (1) 一般選抜(一般入試、大学入試センター試験利用入試(前期・後期)、一般・センター併用型入試)
高等学校での学修の達成度をみるとともに、大学での学修に必要な基礎学力を有しているかを評価する。また、一般選抜のすべての入試において英語の配点比率を高くし、更に一般入試では英語に基準点を設けることにより、英語専攻において専門知識を修得するための英語力を有しているかどうかも含めて判定する。
- (2) 特別選抜(指定校推薦入試、指定校選抜入試、AO選抜入試、併設高校からの推薦入試)
特別選抜では、高等学校において一定の基準の学力を修得したと認められる生徒の推薦を求めるが、英語専攻においては、更に英語の評定平均値や資格・検定試験のスコアなどを出願資格に加えることにより、英語に興味を持ち、その能力を維持発展させる意欲のある者を評価する。特に AO 選抜入試では、入学後にその能力を積極的に活用し、他の学生に刺激を与えることを期待して、高水準の英語能力を有することを出願条件としている。受験者には、小論文と面接を課しており、出願時の志望理由書を含めて、受験者の意欲・関心、理解力・思考力・表現力を総合的に評価して判定する。
- (3) その他の選抜(外国人入試)
多様な学びの背景を持つ学生を受け入れるために、外国人のための入試を実施する。一定の語学力を有することを出願要件としたうえで、日本語による作文と面接を課すことにより、受験者の意欲・関心、理解力・思考力・表現力を総合的に評価して判定する。

外国語学科 フランス語専攻

教育の理念

外国語学科フランス語専攻は、実践的なフランス語運用能力の育成を基礎として、より総合的で創造的なコミュニケーション能力の修得へと導きながら、言語を取り巻く社会や文化のありようを理解し、自己と異なる他者を発見してこれと積極的に対話を行い、国際化・情報化する世界の中で知的行動力をもって活躍しうる人材を育成することを目的とする。

アドミッション・ポリシー

1. 求める学生像

外国語学科フランス語専攻は、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)及び教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた者を求める。

- (1) 大学での学修に必要な基礎学力を有している者。
- (2) 新しい言語にチャレンジする意欲のある者。
- (3) フランス語とフランス語圏の文化に高い関心をもつ者。
- (4) コミュニケーションを通して他者の存在を発見し相互理解を志向する多文化的想像力をもつ者。

2. 選抜方法

外国語学科フランス語専攻では、前項で述べた資質を有する者を、以下の方法によって選抜する。

- (1) 一般選抜(一般入試、大学入試センター試験利用入試(前期・後期)、一般・センター併用型入試)
高等学校での学修の達成度をみるとともに、大学での学修に必要な基礎学力を有しているかを評価して判定する。
- (2) 特別選抜(指定校推薦入試、公募制推薦入試、併設高校からの推薦入試)
特別選抜では、高等学校において一定の基準の学力を修得したと認められる生徒の推薦を求める。また、フランス語専攻独自の指定先として、フランス語又は英語以外の外国語を正課授業として開講する高校からの推薦を受け入れ、フランス語専攻での学びに強い意欲と理解をもった者を評価する。特別選抜入試では受験者に小論文と面接を課しており、出願時の志望理由書を含めて、受験者の意欲・関心、理解力・思考力・表現力を総合的に評価して判定する。
- (3) その他の選抜(外国人入試、帰国生入試)
多様な学びの背景を持つ学生を受け入れるために、外国人及び帰国生のための入試を実施する。一定の語学力を有することを確認したうえで、外国人入試では日本語による作文と面接、帰国生入試では日本語による小論文と面接を課すことにより、受験者の意欲・関心、理解力・思考力・表現力を総合的に評価して判定する。

商学部

教育の理念

商学部は、建学の精神に基づいて、高い倫理観と深い思考力を備えたビジネス・パーソンの育成を目的とする。具体的には、キリスト教学・商学・会計学・経営学・経営情報学の分野における高度な学術理論の教育と研究を通じて、経済社会に生起する問題の本質を正しく認識し、高度な倫理観に支えられた論理的な思考力をもって、新たな環境を積極的に創造する志の高いビジネス・パーソンを育成することで、広く社会への貢献を目指す。

商学科

教育の理念

商学科では、商学と会計学の分野における高度な学術理論の教育と研究を通じて、商取引に関する正しい理解を深めさせる。モノとカネの効率的配分や円滑な流通を目的とする商学と企業成果の計算・公表を目的とする会計学について教育することで、問題設定能力とその解決能力を有するとともに、経済社会に柔軟に対応でき、かつ、高い倫理観と高度な専門知識を身に付けたビジネス・パーソンの育成を目指す。

アドミッション・ポリシー

1. 求める学生像

商学科は、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)及び教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた者を求める。

- (1) 大学での学修に必要な基礎学力を有している者。
- (2) 高度な倫理観に支えられた問題意識を持つ旺盛な知的な好奇心のある者。
- (3) 商学や会計学などの諸領域について広範かつ専門的な知識の学修を通じて、自らが立てた将来の目標の実現を図る志の高い知的柔軟性のある者。

2. 選抜方法

商学科では、前項で述べた資質を有する者を、以下の方法によって選抜する。

- (1) 一般選抜(一般入試、大学入試センター試験利用入試(前期・後期)、一般・センター併用型入試)
高等学校での学修の達成度をみるとともに、大学での学修に必要な基礎学力を有しているかを評価して判定する。
- (2) 特別選抜(指定校推薦入試、公募制推薦入試、併設高校からの推薦入試)
特別選抜では、高等学校において一定の基準の学力を修得したと認められる生徒の推薦を求める。また、公募制推薦入試では、日商簿記検定や全商簿記検定などの資格取得を出願資格に加えることにより、商学科での学びに強い興味を持ち、その能力を維持発展させる意欲のある者を評価する。特別選抜入試では受験者に小論文と面接を課しており、出願時の志望理由書を含めて、受験者の意欲・関心、理解力・思考力・表現力を総合的に評価して判定する。
- (3) その他の選抜(外国人入試、帰国生入試)
多様な学びの背景を持つ学生を受け入れるために、外国人及び帰国生のための入試を実施する。一定の語学力を有することを確認したうえで、外国人入試では日本語による作文と面接、帰国生入試では日本語による小論文と面接を課すことにより、受験者の意欲・関心、理解力・思考力・表現力を総合的に評価して判定する。

経営学科

教育の理念

経営学科では、経営学と経営情報学の分野における高度な学術理論の教育と研究を通じて、企業経営に関する正しい理解を深めさせる。現代の経済活動の重要な一翼を担っている企業の経営について、思想・戦略・組織・ヒト・モノ・カネ・情報・国際・環境などの観点から多面的に教育することで、高度な倫理観・理解力・構想力・表現力及び対人関係形成能力を備えた優れたビジネス・パーソンの育成を目指す。

アドミッション・ポリシー

1. 求める学生像

経営学科は、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)及び教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリ

シー)に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた者を求める。

- (1) 大学での学修に必要な基礎学力を有している者。
- (2) 高度な倫理観に支えられた問題意識を持つ旺盛な知的好奇心のある者。
- (3) 経営学や経営情報学などの諸領域について広範かつ専門的な知識の学修を通じて、自らが立てた将来の目標の実現を図る志の高い知的柔軟性のある者。

2. 選抜方法

経営学科では、前項で述べた資質を有する者を、以下の方法によって選抜する。

- (1) 一般選抜(一般入試、大学入試センター試験利用入試(前期・後期)、一般・センター併用型入試)

高等学校での学修の達成度をみるとともに、大学での学修に必要な基礎学力を有しているかを評価して判定する。

- (2) 特別選抜(指定校推薦入試、公募制推薦入試、併設高校からの推薦入試)

特別選抜では、高等学校において一定の基準の学力を修得したと認められる生徒の推薦を求める。また、公募制推薦入試では、ジュニアマイスターや情報技術検定などの資格取得を出願資格に加えることにより、経営学科での学びに強い興味を持ち、その能力を維持発展させる意欲のある者を評価する。特別選抜入試では受験者に小論文と面接を課しており、出願時の志望理由書を含めて、受験者の意欲・関心、理解力・思考力・表現力を総合的に評価して判定する。

- (3) その他の選抜(外国人入試、帰国生入試)

多様な学びの背景を持つ学生を受け入れるために、外国人及び帰国生のための入試を実施する。一定の語学力を有することを確認したうえで、外国人入試では日本語による作文と面接、帰国生入試では日本語による小論文と面接を課すことにより、受験者の意欲・関心、理解力・思考力・表現力を総合的に評価して判定する。

経済学部

教育の理念

経済学部の理念は、経済学の基本的知識と特有の思考法を基礎とした、現代社会を生き抜く力の涵養であり、教育の目的は、社会における重要問題の所在を自ら発見し、それに関して必要となる事項を自ら調べる能力、そして、その結果を簡潔かつ明瞭に報告し、さらに問題に的確に対処できる能力を身に付けさせることを基礎として、社会の変動を正確に理解し、その展開過程に積極的に参画できる企業人、公務員その他の社会人を養成することにある。

経済学科

教育の理念

経済学科は、経済学の理論体系、実証分析、政策分析、経済の歴史的分析及び現実経済の把握に関する諸分野の科目を有機的かつ総合的に教授し、日本と地域社会を中心とした経済の仕組みの論理的構造と実態とを理解させるとともに、データを科学的に分析し、先入観にとらわれない

合理的結論を導き出す経済学的思考方法を鍛錬することによって、種々の経済社会問題に対する実践的解決法を見出す能力を有する人材を育成することを目的とする。

アドミッション・ポリシー

1. 求める学生像

経済学科は、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)及び教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた者を求める。

- (1) 基礎学力を身に付け、社会問題を分析する能力を持ち、経済学科への入学を強く志望する者。
- (2) 現代世界で起きている様々な政治的・経済的・社会的な諸問題に関心を持ち、論理的な判断力をもってその解決を目指そうとする意欲を持った者。
- (3) 日本や世界の歴史や現状に強い関心を持ち、未来を展望する視点を持つ者。

2. 選抜方法

経済学科では、前項で述べた資質を有する者を、以下の方法によって選抜する。

- (1) 一般選抜(一般入試、大学入試センター試験利用入試(前期・後期)、一般・センター併用型入試)

高等学校での学修の達成度をみるとともに、大学での学修に必要な基礎学力を有しているかどうかを評価して判定する。また、一般・センター併用型入試では、可否判定に利用する科目として一般入試から必ず数学を選択するなど、経済学科において専門知識を修得するための数学的能力を有しているかどうかを評価する。

- (2) 特別選抜(指定校推薦入試、公募制推薦入試、併設高校からの推薦入試)

特別選抜では、高等学校において一定の基準の学力を修得したと認められる生徒の推薦を求める。入試では受験者に小論文と面接を課しており、出願時の志望理由書を含めて、受験者の意欲・関心のみならず、理解力・思考力・表現力を総合的に評価して判定する。

- (3) その他の選抜(外国人入試、帰国生入試)

多様な学びの背景を持つ学生を受け入れるために、外国人及び帰国生のための入試を実施する。一定の語学力を有することを確認したうえで、外国人入試では日本語による作文と面接、帰国生入試では日本語による小論文と面接を課すことにより、受験者の意欲・関心のみならず、理解力・思考力・表現力を総合的に評価して判定する。

国際経済学科

教育の理念

国際経済学科は、先入観にとらわれない合理的な経済学的思考方法の研鑽に加えて、国際社会の変化と国際経済及びビジネスのグローバル化の諸現象と相互の関連性、並びにそこから派生する諸問題の分析手法と対処方法立案の考え方を教授し、歴史・伝統・習慣・文化・宗教等の異なる諸外国との交流に役立つ語学力を基礎とした幅広い国際感覚を養成することによって、社会の国際化に寄与しうる人材を育成することを目的とする。

アドミッション・ポリシー

1. 求める学生像

国際経済学科は、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)及び教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた者を求める。

- (1) 基礎学力を身に付け、社会問題を分析する能力を持ち、国際経済学科への入学を強く志望する者。
- (2) 現代世界で起きている様々な政治的・経済的・社会的な諸問題に関心を持ち、語学力を基にその解決を目指すようとする意欲を持った者。
- (3) 日本や世界の歴史・伝統・文化を理解し、海外経験を通じて国際的な教養を身に付けたいと強く望む者。

2. 選抜方法

国際経済学科では、前項で述べた資質を有する者を、以下の方法によって選抜する。

- (1) 一般選抜(一般入試、大学入試センター試験利用入試(前期・後期)、一般・センター併用型入試)
高等学校での学修の達成度をみるとともに、大学での学修に必要な基礎学力を有しているかどうかを評価して判定する。また、一般・センター併用型入試では、合否判定に利用する科目として一般入試から必ず英語を選択するなど、国際経済学科において専門知識を修得するための語学力を有しているかどうかを評価する。
- (2) 特別選抜(指定校推薦入試、公募制推薦入試、併設高校からの推薦入試)
特別選抜では、高等学校において一定の基準の学力を修得したと認められる生徒の推薦を求める。入試では受験者に小論文と面接を課しており、出願時の志望理由書を含めて、受験者の意欲・関心のみならず、理解力・思考力・表現力を総合的に評価して判定する。
- (3) その他の選抜(外国人入試、帰国生入試)
多様な学びの背景を持つ学生を受け入れるために、外国人及び帰国生のための入試を実施する。一定の語学力を有することを確認したうえで、外国人入試では日本語による作文と面接、帰国生入試では日本語による小論文と面接を課すことにより、受験者の意欲・関心のみならず、理解力・思考力・表現力を総合的に評価して判定する。

法学部

教育の理念

法学部は、法学及び政治学の専門学智を基礎に、多様な価値観の理解と、批判的思惟の力を育み、変容する現代社会の秩序構成に寄与できる識見を養うことを目的とする。

法律学科

教育の理念

法律学科は、法学及び政治学の専門学智を修め、伶俐な識見を養うとともに、多様な価値観への理解を促し、公共の精神の涵養に努め、変容する現代社会に対する批判的思考力を育み、多方面にわたる社会活動に貢献できる人格の育成を図ることを目的とする。

アドミッション・ポリシー

1. 求める学生像

法律学科は、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)及び教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識・意欲を備え、かつ、大学での学修に必要な基礎学力を有している者を求める。

- (1) 法学・政治学の専門学智、多様な価値観の理解、及び批判的思惟の力を修得できる学習力を有する者。
- (2) 現代社会の動態をみつめ、あらたな秩序構成に寄与できる識見を修得できる学習力を有する者。
- (3) 多方面にわたる社会活動に貢献することに意欲的な者。

2. 選抜方法

法律学科では、前項で述べた資質を有する者を、以下の方法によって選抜する。

- (1) 一般選抜(一般入試、大学入試センター試験利用入試(前期・後期)、一般・センター併用型入試)
高等学校での学修の達成度をみるとともに、大学での学修に必要な基礎学力を有しているかを評価して判定する。また、一般・センター併用型入試では、合否判定に利用する科目として一般入試から必ず英語を、大学入試センター試験から数学を採用するなど、法律学科において専門知識を修得するための語学力及び数学的思考力を有しているかも併せて評価する。
- (2) 特別選抜(指定校推薦入試、公募制推薦入試、併設高校からの推薦入試)
特別選抜では、高等学校において一定の基準の学力を修得したと認められる生徒の推薦を求める。また、公募制推薦入試では、高等学校3年次でも数学科目を履修していることを出願資格に加えることにより、数学的思考力を有する者を評価する。特別選抜入試では受験者に小論文と面接を課しており、出願時の志望理由書を含めて、受験者の意欲・関心、理解力・思考力・表現力を総合的に評価して判定する。
- (3) その他の選抜(外国人入試、帰国生入試)
多様な学びの背景を持つ学生を受け入れるために、外国人及び帰国生のための入試を実施する。一定の語学力を有することを確認したうえで、外国人入試では日本語による作文と面接、帰国生入試では日本語による小論文と面接を課すことにより、受験者の意欲・関心、理解力・思考力・表現力を総合的に評価して判定する。

国際関係法学科

教育の理念

国際関係法学科は、社会の国際化に起因する諸現象を法的・政治的観点から学術的に深く掘り下げて理解しうる識見を養い、普遍的な視野と共生の精神の涵養に努め、多様な活動の場において国際共同社会の課題に取組み、異文化交流に貢献できる人格の育成を図ることを目的とする。

アドミッション・ポリシー

1. 求める学生像

国際関係法学科は、卒業認定・学位授与の方針(ディ

ロマ・ポリシー)及び教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識・意欲を備え、かつ、大学での学修に必要な基礎学力を有している者を求める。

- (1) 法学・政治学の専門学智、多様な価値観の理解、及び批判的思惟の力を修得できる学習力を有する者。
- (2) 変容する国際社会の秩序構成に寄与できる識見及び国際化に起因する諸現象を法的・政治的観点から学術的に深く掘り下げて理解しうる識見を修得できる学習力を有する者。
- (3) 多様な文化を受容し、異文化交流に貢献することに意欲的な者。

2. 選抜方法

国際経済学科では、前項で述べた資質を有する者を、以下の方法によって選抜する。

- (1) 一般選抜(一般入試、大学入試センター試験利用入試(前期・後期)、一般・センター併用型入試)
高等学校での学修の達成度をみるとともに、大学での学修に必要な基礎学力を有しているかどうかを評価して判定する。また、一般・センター併用型入試では、合否判定に利用する科目として一般入試から必ず英語を選択するなど、国際経済学科において専門知識を修得するための語学力を有しているかどうかを評価する。
- (2) 特別選抜(指定校推薦入試、公募制推薦入試、併設高校からの推薦入試)
特別選抜では、高等学校において一定の基準の学力を修得したと認められる生徒の推薦を求める。入試では受験者に小論文と面接を課しており、出願時の志望理由書を含めて、受験者の意欲・関心のみならず、理解力・思考力・表現力を総合的に評価して判定する。
- (3) その他の選抜(外国人入試、帰国生入試)
多様な学びの背景を持つ学生を受け入れるために、外国人及び帰国生のための入試を実施する。一定の語学力を有することを確認したうえで、外国人入試では日本語による作文と面接、帰国生入試では日本語による小論文と面接を課すことにより、受験者の意欲・関心のみならず、理解力・思考力・表現力を総合的に評価して判定する。

人間科学部

教育の理念

人間科学部は、キリスト教主義による人間教育の理念に基づいて、幅広く高い教養と人間に関する諸分野の学術的成果を習得させることによって、人間の生涯に亘る成長と発達についての深い理解、他者を受容し共感する能力、ならびに地域社会、わが国と世界についての主体的思考力と総合的な判断力をもった個人を育成するとともに、とりわけ教育、保育、福祉、心理の各分野において優れた働き手として貢献しうる専門家を養成することを目的とする。

アドミッション・ポリシー

- (1) 広く人や社会について学ぶことのできる能力と十分な基礎的知識と一定の学力水準を有する人。

(2) 将来保育・教育・福祉・心理の現場で学ぼうとする意欲があり、かつ一定の総合的学習能力を有する人。

(3) 人とのコミュニケーションに関心があり、倫理性に優れ、かつ一定の総合的学習能力を有する人。

以上の観点から、入学者選抜には、一定基準以上の多様な方法を持つ入学試験による選抜、および一定基準以上の成績を持つ学生の高等学校推薦による入学試験を行い、保育・教育・福祉・心理に関わる希望を持つ多様な資質を持つ学生を受け入れる。

児童教育学科

教育の理念

児童教育学科は、キリスト教主義による人間教育の理念に基づいて教育を行い、教育・保育の分野に関する専門的知識と技能の習得を通じて、これらの分野の専門家である保育士、幼稚園教諭、小学校教諭などを養成するとともに、これらの専門的知識と技能を活かして社会に貢献しうる人間を育成することを目的とする。

アドミッション・ポリシー

1. 求める学生像

児童教育学科は、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)及び教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた者を求める。

- (1) 大学での学修に必要な基礎学力を有している者。
- (2) 自分をとりまく諸世界(人間・社会・自然など)について学ぶことに関心を持ち、それらに対する基礎的知識を有する者。
- (3) 将来、保育・教育の現場で活動することに意欲を持ち、その活動に幅広く関わる内容への基本的な学習能力を有する者。
- (4) 社会性、規範意識があり、人や社会と関わることに意欲的な者。

2. 選抜方法

児童教育学科では、前項で述べた資質を有する者を、以下の方法によって選抜する。

- (1) 一般選抜(一般入試、大学入試センター試験利用入試(前期・後期)、一般・センター併用型入試)
高等学校での学修の達成度をみるとともに、大学での学修に必要な基礎学力を有しているかを評価して判定する。また、一般・センター併用型入試では、合否判定に利用する科目として、大学入試センター試験から必ず数学または理科を採用することなど、児童教育学科において専門知識を修得するための理数的能力を有しているかについても併せて評価する。
- (2) 特別選抜(指定校推薦入試、併設高校からの推薦入試)
特別選抜では、高等学校において一定の基準の学力を修得したと認められる生徒の推薦を求める。また、受験者には小論文と面接を課し、出願時の志望理由書を含めて、受験者の意欲・関心、理解力・思考力・表現力を総合的に評価して判定する。
- (3) その他の選抜(外国人入試、帰国生入試)
多様な学びの背景を持つ学生を受け入れるために、外国人及び帰国生のための入試を実施する。一定の語

学力を有することを確認したうえで、外国人入試では日本語による作文と面接、帰国生入試では日本語による小論文と面接を課すことにより、受験者の意欲・関心、理解力・思考力・表現力を総合的に評価して判定する。

社会福祉学科

教育の理念

社会福祉学科は、キリスト教主義による人間教育の理念に基づいて教育を行い、社会福祉の分野に関する専門的知識と技能の習得を通じて、これらの分野の専門家である社会福祉士、精神保健福祉士、保育士などを養成するとともに、これらの専門的知識と技能を生かして社会に貢献しうる人間を育成することを目的とする。

アドミッション・ポリシー

1. 求める学生像

社会福祉学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた者を求める。

- (1) 大学での学修に必要な基礎学力を有している者。
- (2) 人と環境について学ぶことに関心を持ち、基本的な学習能力を有する者。
- (3) 将来、社会に貢献する意欲をもち、特に社会福祉分野に自らの課題を見出せる者。
- (4) 地域や社会に参画する能力が高く、倫理規範を備えた者。

2. 選抜方法

社会福祉学科では、前項で述べた資質を有する者を、以下の方法によって選抜する。

- (1) 一般選抜（一般入試、大学入試センター試験利用入試（前期・後期）、一般・センター併用型入試）
高等学校での学修の達成度をみるとともに、大学での学修に必要な基礎学力を有しているかを評価して判定する。
- (2) 特別選抜（指定校推薦入試、併設高校からの推薦入試）
特別選抜では、高等学校において一定の基準の学力を修得したと認められる生徒の推薦を求める。また、社会福祉学科として独自に、福祉科、介護福祉科等を設置する高校から福祉関係コースで学ぶ生徒の推薦を受け入れ、社会福祉学科での学びに強い関心を持ち、高校での学びを維持発展させる意欲のある者を対象とする。特別選抜入試では受験者に小論文と面接を課しており、出願時の志望理由書を含めて、受験者の意欲・関心、理解力・思考力・表現力を総合的に評価して判定する。
- (3) その他の選抜（外国人入試、帰国生入試）
多様な学びの背景を持つ学生を受け入れるために、外国人及び帰国生のための入試を実施する。一定の語学力を有することを確認したうえで、外国人入試では日本語による作文と面接、帰国生入試では日本語による小論文と面接を課すことにより、受験者の意欲・関心、理解力・思考力・表現力を総合的に評価して判定する。

心理学科

教育の理念

心理学科は、キリスト教主義による人間教育の理念に基づいて教育を行い、心理学の分野に関する専門的知識と技能の習得を通じて、様々な事態において人の心を科学的に調査および分析できる専門的な知識技術をもつ人材を養成するとともに、人間関係調整能力等をもち、応用力を備えた人材を育成し、グローバルな視点から社会に貢献しうる人間を育成することを目的とする。

アドミッション・ポリシー

1. 求める学生像

心理学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた者を求める。

- (1) 大学での学修に必要な基礎学力を有している者。
- (2) 自分をとりまく諸世界及び人間について学ぶことに関心を持ち、それらに対する基礎的知識を有する者。
- (3) 将来、心理の知識を活かして社会に貢献することに意欲を持ち、自らの課題を見いだせる者。
- (4) 対人関係の支援に必要なコミュニケーション能力を身に付けることに意欲的な者。

2. 選抜方法

心理学科では、前項で述べた資質を有する者を、以下の方法によって選抜する。

- (1) 一般選抜（一般入試、大学入試センター試験利用入試（前期・後期）、一般・センター併用型入試）
高等学校での学修の達成度をみるとともに、大学での学修に必要な基礎学力を有しているかを評価して判定する。また、一般・センター併用型入試では、合否判定に利用する科目として、大学入試センター試験から必ず数学または理科を採用することなど、心理学科において専門知識を修得するための理数的能力を有しているかについても併せて評価する。
- (2) 特別選抜（指定校推薦入試、公募制推薦入試、併設高校からの推薦入試）
特別選抜では、高等学校において一定の基準の学力を修得したと認められる生徒の推薦を求める。また、公募制推薦入試では、数学科目の履修や英語の資格・検定試験のスコアを出願資格に加えることにより、数学的思考力及び語学力を有する者を対象とする。特別選抜入試では受験者に小論文と面接を課し、出願時の志望理由書を含めて、受験者の意欲・関心、理解力・思考力・表現力を総合的に評価して判定する。
- (3) その他の選抜（外国人入試、帰国生入試）
多様な学びの背景を持つ学生を受け入れるために、外国人及び帰国生のための入試を実施する。一定の語学力を有することを確認したうえで、外国人入試では日本語による作文と面接、帰国生入試では日本語による小論文と面接を課すことにより、受験者の意欲・関心、理解力・思考力・表現力を総合的に評価して判定する。

国際文化学科

教育の理念

国際文化学部は、人類が今までに生み出し発展させてきた古今東西の文化を、地域文化、比較文化及び表象文化の視点から歴史的・総合的に捉え、地域と世界、文化と芸術に関する専門的知識と国際的かつグローバルな視野を持つことによって、地域社会及び国際社会に貢献し、現代世界において活躍する職業人及び文化の継承・発展と新たな文化の創造をなす学者・芸術家などを育成することを目的とする。

アドミッション・ポリシー

1. 求める学生像

国際文化学科は、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)及び教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた者を求める。

- (1) 大学での学修に必要な基礎学力を有している者。
- (2) 広く文化、社会、歴史について学ぶ積極的な意欲を持ち、その獲得のための基礎知識並びに一定の学力がある者。
- (3) 国際的関心を有し、思索に富み、異文化理解に積極的に関わることが出来る者。
- (4) 価値観の多様な社会の中にあって将来も自己を失わずに積極的に活躍できる者。

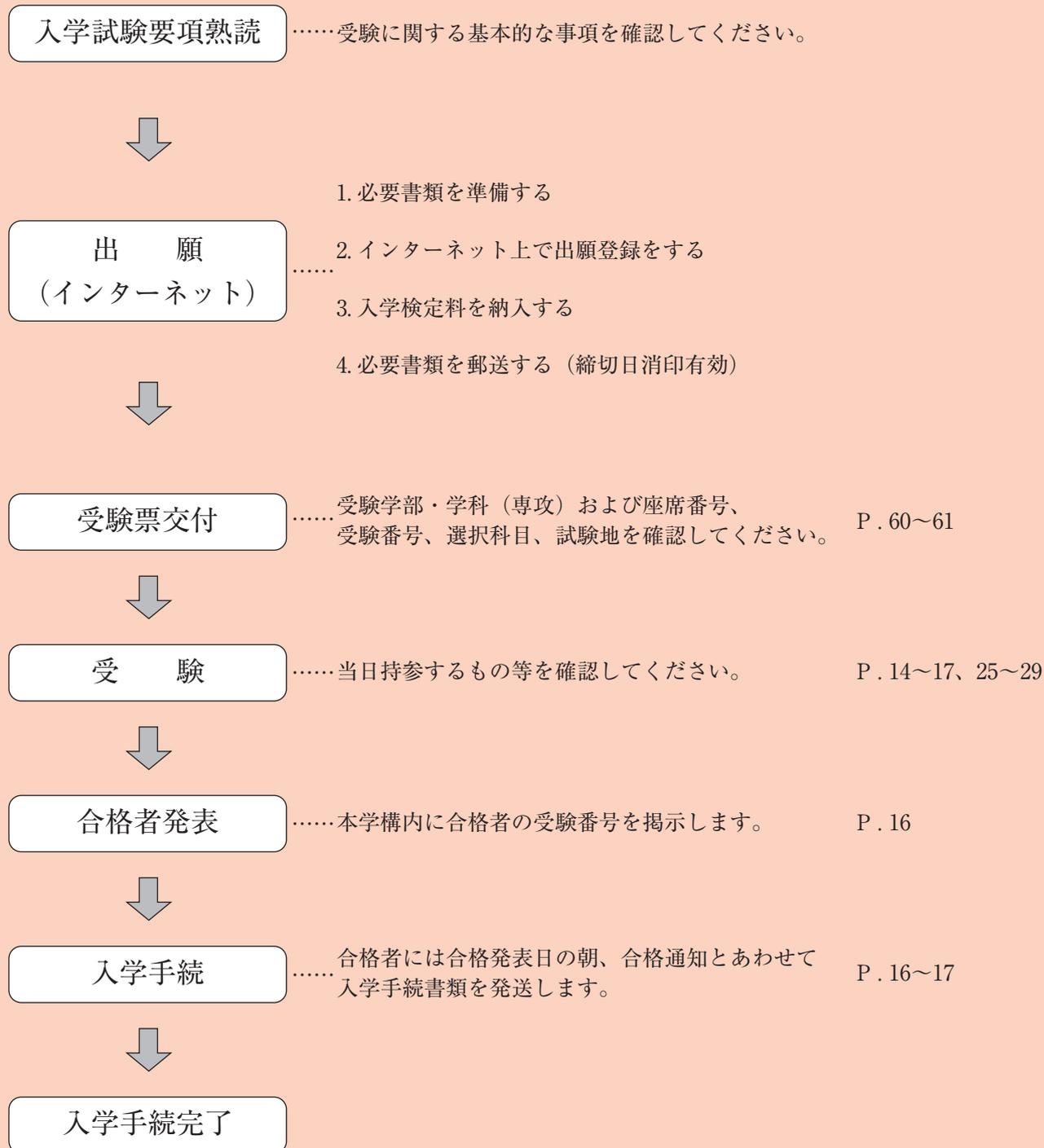
2. 選抜方法

国際文化学科では、前項で述べた資質を有する者を、以下の方法によって選抜する。

- (1) 一般選抜(一般入試、大学入試センター試験利用入試(前期・後期)、一般・センター併用型入試)
高等学校での学修の達成度をみるとともに、大学での学修に必要な基礎学力を有しているかを評価して判定する。
- (2) 特別選抜(指定校推薦入試、併設高校からの推薦入試)
特別選抜では、高等学校において一定の基準の学力を修得したと認められる生徒の推薦を求める。また、指定校推薦入試では、国語の評定平均値を出願資格に加えることにより、国際文化学科において専門知識を修得するための国語力を有する者を評価する。特別選抜入試では受験者に小論文と面接を課しており、出願時の志望理由書を含めて、受験者の意欲・関心、理解力・思考力・表現力を総合的に評価して判定する。
- (3) その他の選抜(外国人入試、帰国生入試)
多様な学びの背景を持つ学生を受け入れるために、外国人及び帰国生のための入試を実施する。一定の語学力を有することを確認したうえで、外国人入試では日本語による作文と面接、帰国生入試では日本語による小論文と面接を課すことにより、受験者の意欲・関心、理解力・思考力・表現力を総合的に評価して判定する。

Ⅱ 一般入試

(参照ページ)



〔1〕 入 試 日 程

試験日程		学 部	学 科 ・ 専 攻
A日程	2月5日(月)	人 間 科 学 部	児 童 教 育 学 科
			社 会 福 祉 学 科
			心 理 学 科
	2月6日(火)	文 学 部	英 文 学 科
			外 国 語 学 科 英 語 専 攻
			外 国 語 学 科 フランス語専攻
	2月7日(水)	法 学 部	法 律 学 科
			国 際 関 係 法 学 科
	2月7日(水)	神 学 部	神 学 科
		経 済 学 部	経 済 学 科
	国 際 経 済 学 科		
2月8日(木)	商 学 部	商 学 科	
		経 営 学 科	
	国 際 文 化 学 部	国 際 文 化 学 科	
F日程	2月9日(金)	全 学 部	全 学 科 (専 攻)

〔2〕 出 願 期 間

2018(平成30)年1月5日(金)から1月16日(火)まで[消印有効]

出願はインターネット出願に限ります。

なお、出願締切日直前の取扱いについては〔8〕出願上の注意を参照してください。

出願期間 (インターネットの入力期間)	検定料納入期間	必要書類送付期間
2018年1月 5日(金) 9時～ 1月16日(火) 23時00分	2018年1月 5日(金) 9時～ 1月16日(火) 23時59分	2018年1月 5日(金)～ 1月16日(火)消印有効 ※出願締切日の前日から窓口持参可

〔3〕 試験教科・科目、配点、時間

教 科	科 目	配 点	時 間
国 語	国語総合、古典B(いずれも漢文を除く)、現代文B	100点	70分
外国語	コミュニケーション英語I、コミュニケーション英語II、コミュニケーション英語III、 英語表現I、英語表現II	100点	70分
		※150点	
		◆200点	
地理歴史	日本史B、世界史B、地理B	5科目から 1科目	100点
公 民	政治・経済		
数 学	数学[数学I、数学II、数学A、数学B(数列、ベクトル)]		

※配点の150点満点は、A・F両日程の英文学科に適用します。

◆配点の200点満点は、A・F両日程の外国語学科英語専攻に適用します。

試験地	集合時間	試験時間割				合格者発表	入学手続	
		I	II	昼食	III			
本 山 長 熊 大 宮 鹿 東 沖 (東京・沖縄は 2月9日のみ)	学 島 口 崎 本 分 崎 島 京 縄 (東京・沖縄は 2月9日のみ)	遅刻者は必ず試験場入口担当者の指示を受けること。 受験生は午前9時40分までに座席番号の席に着席すること。 試験当日は午前9時から試験場への入場を開始します。	国 語 (70分)	選 択 科 目 (70分)	昼 食	外 国 語 (70分)	2月21日(水) (午前10時 本学構内に合格者受験番号を掲示)	3月1日(休)午後3時までに入学時納入金を一括納入すること。 ただし、分割納入を希望する場合は、 第一次納入金として入学申込金(入金相当額)を3月1日(休)午後3時まで、 第二次納入金(授業料等納入金)を3月22日(休)午後3時までに納入すること。
			10:00 }	11:50 }	13:00 }	14:20 }		
			11:10	13:00	14:00 (14時までに着席すること)	15:30		

〔4〕 募 集 人 員

学 部	学 科・専 攻	入 学 定 員	一 般 選 抜				特 別 選 抜						AO 選 抜	
			一般 入 試	大学入試センター 試験利用入試		一般・センター 併用型入試	指定校 推薦	独自 指定校 推薦	公募制 推薦	西南学院 高校推薦	西南女学院 高校推薦	英専独自 指定校選抜		
				前期	後期									
神 学 部	神 学 科	10名	6名				1名	2名			1名			
文 学 部	英 文 学 科	120名	65名	6名	6名	6名	12名	12名	10名	2名	1名			
	外国語 学 科	120名	63名	9名	5名	7名		5名		5名		20名	6名	
	フランス語 専 攻	60名	28名	4名	3名	3名	6名	6名	7名	2名	1名			
商 学 部	商 学 科	180名	98名	7名	7名	7名	15名	30名	8名	7名	1名			
	経 営 学 科	180名	98名	7名	7名	7名	15名	30名	8名	7名	1名			
経 済 学 部	経 済 学 科	240名	128名	15名	8名	13名	25名	25名	15名	10名	1名			
	国際経済学科	120名	56名	10名	5名	6名	15名	15名	7名	5名	1名			
法 学 部	法 律 学 科	315名	190名	12名	6名	18名	33名	23名	12名	20名	1名			
	国際関係法学科	95名	42名	4名	3名	6名	10名	12名	10名	7名	1名			
人 間 科 部	児童教育学科	100名	60名	5名	5名	5名	12名	5名		7名	1名			
	社会福祉学科	110名	55名	10名	5名	3名	10名	15名		10名	2名			
	心 理 学 科	120名	64名	13名	3名	6名	10名	15名	5名	3名	1名			
国際文化 学 部	国際文化学科	180名	95名	13名	6名	13名	28名	15名		9名	1名			
合 計		1,950名	1,048名	115名	69名	100名	192名	210名	82名	95名	13名	20名	6名	

※各選抜制度の許可数は、当該程度とします。

※上記の他に帰国生入試(若干名、外国語学科(英語専攻)を除く)、外国人入試(若干名)、国際バカロレアAO入試(若干名)の募集枠があります。

〔5〕出願資格

次のいずれかに該当するもの

1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者および2018(平成30)年3月卒業見込みの者
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2018(平成30)年3月修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2018(平成30)年3月までにこれに該当する見込みの者
 - ア. 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および2018(平成30)年3月までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で、文部科学大臣の指定した者
 - イ. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および2018(平成30)年3月までに修了見込みの者
 - ウ. 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および2018(平成30)年3月までに修了見込みの者
 - エ. 文部科学大臣の指定した者
 - オ. 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む）および2018(平成30)年3月合格見込みの者
 - カ. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者および2018(平成30)年3月までにこれに該当する見込みの者で、18歳に達した者

〔6〕出願書類

1. 調査書

- (1) 出身学校において、文部科学省所定の様式により**2017(平成29)年10月1日以降**に作成・厳封したものを1通提出してください。**大学入試センター試験利用入試(前期)、一般・センター併用型入試との併願や複数学科(専攻)を併願する際に、1つの出願用封筒にまとめる場合、調査書は1通で構いません。**
 - (2) 次に該当する人は、それぞれ必要な書類を1通提出してください。
 - ① 高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者および大学入学資格検定合格者は、**合格(見込)成績証明書**を提出してください。
※「合格証明書」は不可。
※免除科目、免除見込科目がある場合、その科目の「単位修得(見込)証明書」(履修した高等学校で発行する証明書で、科目ごとの修得単位数が記載されたもの)は提出不要です。
 - ② 文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者は、当該課程の成績証明書を提出してください。
 - ③ 外国と日本の高等学校に在学していた場合は、外国の高等学校における在学全期間の成績証明書と、日本の高等学校の調査書を提出してください。
 - ④ 外国における高等学校を卒業した者は、卒業証明書(または卒業証書の写し)と在学全期間の成績証明書を提出してください。
- 《注意》
- イ. 外国の高等学校に在学した場合でも、日本の高等学校の全課程を修了した者は、日本の高等学校の調査書のみ提出してください。
 - ロ. 廃校、被災などによって調査書の交付が受けられない場合は、これに代わる証明書が必要です。
 - ハ. 神学部神学科神学コース希望者は、合格後別途手続きが必要となりますので、西南学院大学宗教部事務室(TEL092-823-3336)までお問い合わせください。

2. 顔写真 (縦4cm×横3cm) 裏面に氏名および生年月日を明記してください。

〔7〕 入学検定料

1試験日につき 32,000円

※A日程の同一試験日内において併願する場合は
2出願目から10,000円

1. 複数学科（専攻）を併願する場合には、それぞれに入学検定料が必要です。
2. A日程の各日程内において併願した場合の入学検定料割引（2出願目から10,000円）の対象となるのは、同一の出願番号で出願した場合に限ります。
3. いったん納付した入学検定料の返還には、一切応じません。

〔8〕 出願上の注意

1. 5日間の入試日程のそれぞれの試験を出願、受験することができます。あわせて、A日程においては、学部・学科（専攻）間においても併願を認めます。
2. 出願に必要な書類をそろえ、市販の封筒（サイズは角2または長3）にインターネット出願登録完了画面に表示される宛名ラベルを貼付、もしくは宛名ラベルの内容を封筒に転記し郵送してください。
3. 郵便は必ず「速達簡易書留便」としてください。普通便で郵送した場合、万一事故がおこっても本学では責任を負いません。
4. 必要書類の送付は出願締切日[1月16日(火)] 消印有効です。
ただし、出願締切日前日および出願締切日当日に限り、大学への直接持参を認めます(持参場所：大学2号館8階「西南学院大学入試事務室」)。
なお、出願期間後はどのような事情があっても受け付けません。
5. 入学検定料納入後は、試験日、志願学科（専攻）、選択科目、試験地の変更および出願の取り消しはできませんので、十分考慮して出願してください。
6. 疾病・負傷や身体障がい等のために、受験上の配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、事前に必ず入試センター入試課に問い合わせいただき、以下の書類を12月15日(金)までに入試センター入試課まで郵送してください。
 - ①入学試験受験上の配慮申請書(様式自由)
[記載事項]※以下の事項を申請書に記載してください。
申請日付、申請者氏名(漢字、フリガナ)、郵便番号、住所、電話番号、試験地、受験日、受験学部・学科(専攻)、現在の状況(病状等)
受験に際して希望する申請内容等、申請者の署名捺印
 - ②医師の診断書(原本) (※③がある方は不要)
 - ③障害者手帳の写し(該当する場合のみ)
 - ④大学入試センター試験受験上の配慮事項決定通知書の写し(該当する場合のみ)※送付時は、「受験上の配慮申請書在中」と朱書きしてください。出願時は、出願書類とともにメモを同封してください。
※出願後の不慮の事故等による受験上の配慮については、できる限り、早急に入試センター入試課まで相談してください。
7. 本学における個別の入学資格審査による出願の場合は、事前に必ず入試センター入試課にできる限り早く問い合わせてください。

〔9〕 受験上の注意

1. 受験生は、受験票が到着次第、必ず事前に受験日・座席番号・選択科目・試験地を確認してください。
2. 試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻疹、風疹等）に罹患し治癒していない場合は、他の受験生や試験監督者等への感染の恐れがありますので受験をお断りいたします。ただし、医師により伝染の恐れがないと認められた場合はこの限りではありません。なお、上記の理由により受験をお断りした場合、医師による診断書の提出を条件として入学検定料を返還いたします。

〔10〕 受験票交付・見本

受験票交付・見本に関する詳細は、共通事項のP60～61を参照してください。

〔11〕 試験場

●本学試験場

全日程

〔西南学院大学 西新校舎〕（〒814-8511 福岡市早良区西新6-2-92）

TEL (092)823-3366（直通） FAX (092)823-3388

●東京試験場

F日程

〔サピアタワー〕（東京都千代田区丸の内1-7-12）

●広島試験場

全日程

〔RCC文化センター〕（広島市中区橋本町5-11）

●山口試験場

全日程

〔山口グランドホテル〕（山口市小郡黄金町1-1）

●長崎試験場

全日程

〔長崎新聞文化ホール アストピア〕（長崎市茂里町3-1）

●熊本試験場

全日程

〔ホテルメルパルク熊本〕（熊本市中央区水道町14-1）

●大分試験場

全日程

〔大分県労働福祉会館ソレイユ〕（大分市中央町4-2-5）

●宮崎試験場

全日程

〔KITENビル コンベンションホール〕（宮崎市錦町1-10 KITENビル8階）

●鹿児島試験場

全日程

〔ホテルセントコスモ〕（鹿児島市山之口町2-7）

●沖縄試験場

F日程

〔沖縄県市町村自治会館〕（那覇市旭町116-37）

各試験場への交通案内についてはP25以降を参照してください。

試験場の下見について

下見はすべての試験場（全会場）において、建物の位置を確認するに留まり、建物の中に入ることはできません。なお、各試験場の下見時間は次のとおりです。

人間科学部	2月4日(日)	} 16時～18時
文学部、法学部	2月5日(月)	
神学部、経済学部	2月6日(火)	
商学部、国際文化学部	2月7日(水)	
全学部・学科（専攻）	2月8日(木)	

- 《注意》
1. すべての試験場（全会場）には**駐車場・駐輪場はありません**ので、自家用車・バイク・自転車での来場は避けてください。
 2. 入試に関しては全て入試センター入試課へお問い合わせください。本学以外の試験場へは直接問い合わせをしないでください。

[12] 試験場での注意事項

1. 午前9時40分までに受験票に記載されている**座席番号の席に着席してください**。
2. **試験時間内の退室はできません**。なお、気分が悪くなるなどの異常な事態が生じた場合は、必ず監督者の指示に従ってください。
3. 試験終了後は、監督者が指示するまで、各自の席で待機してください。
4. **遅刻は試験開始時刻後40分まで認められますが、試験時間の延長は認められません**。入室限度時刻を超えて遅刻した場合は、入試本部（2号館2階入試センター入試課）へ申し出てください。
5. 試験室は暖房設備を完備していますので試験室内での厚着は無用です。スリッパも不要です。
6. その他、試験室においては監督者の指示に従ってください。
7. 試験場への入場は午前9時から開始します。本学試験場では、西南会館1階食堂スペースと、西南クロスプラザの2か所を午前8時から待機場所（付添者控室兼用）として開放します。（本学以外の試験場には、付添者控室はありません）
8. **各試験場とも駐車場・駐輪場はありません**。また、自家用車、タクシー等利用の場合、乗降は速やかに行い、試験場出入口周辺での長時間の停車は一般車両の通行の妨げとなりますのでご注意ください。
9. 昼食を持参された場合は、教室内での飲食も可能です。

[13] 試験時間中の所持品の取扱いについて

- ・受験票：当日は必ず持参し、座席番号のそばに置いてください。
休憩時間に建物外に出る際は、必ず受験票を携帯してください。
紛失や持参忘れの場合は、速やかに入試センター入試課もしくは試験場担当者に申し出て
ください。
- ・筆記用具等：使用可能なものについては以下を参照してください。

【試験時間中に使用可能なもの】

- ・HBの黒鉛筆またはシャープペンシル(0.5～1.2mmHBの黒芯、格言等の文字が記載されていないもの)
- ・消しゴム（プラスチック製）
- ・鉛筆削り
- ・時計
時計の機能（時間、日付、曜日程度）のみを持つものに限りです。通信機能、辞書機能および計算機能付き時計は認めておりません。試験室には壁時計は設置しておりませんのでご注意ください。（大学からの貸し出しは行いません。）
- ・目薬
- ・ティッシュ（袋から取り出したもの）
- ・ハンカチ（格言等の文字が記載されていないもの）

【試験時間中に使用不可のもの】

- ・電卓、そろばん、コンパス、翻訳機、電子辞書
- ・通信機能付・計算機能付・辞書機能付腕時計（それらの機能の有無の判別しにくいものを含む）、キッチンタイマー、秒針音のするもの、大型のもの
- ・携帯電話、スマートフォン、音楽プレーヤー、ICレコーダーなどの電子通信機器
- ・定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む）
- ・下敷き（机に凹凸があり解答記入に支障があると判断した場合は、大学より貸し出しを行います。）
- ・英文字や地図等がプリントされている服（メーカー名程度は可）

※使用できないものはカバン等に納めて、監督者の指示する場所に置いてください（携帯電話等については、試験場への入場の際、アラーム機能を解除し電源を切り、カバン等に納めてください）。

※使用不可の物を試験中に使用した場合には不正行為となります。また、これらのものを身に付けていたり、カバンから出して身近に置いている場合でも不正行為となることがあります。

〔14〕 試験問題の解答方法

すべての試験科目について、解答用紙は1枚（B4サイズ）となっており、記述式解答と選択式解答を含んでいます。

〔15〕 試験実施に関する情報

天災の発生等、不測の事態により入学試験実施に変更が生じる場合は大学ホームページを通じて案内します。

〔16〕 合否判定について

1. 合否判定については、A・F両日程において得点調整（選択科目間、試験日間）を行ったうえで共通基準により判定します。
合否判定方法については以下のとおりとなります。
すべての学部・学科（専攻）において、同一試験日における選択科目間に一定の平均点差が生じた場合は、平均値補正法による選択科目間の得点調整を行い、次に各試験日の受験者平均点に一定の差が生じた場合は科目ごとに得点調整を行ったうえで、一括して合否判定を行います。A日程とF日程の両方で同じ学科（専攻）を受験した場合は、いずれか総合点の高い方で合否判定を行います。
2. 英語の基準点（英文学科、外国語学科英語専攻）
英文学科と外国語学科英語専攻については、選考の過程において専門重視の立場から、試験科目のうち以下のとおり「英語」に基準点を設けています。
この基準に達しない場合は、3科目の総合点で合格圏内にあっても不合格となります。
① 英文学科の場合：英文学科受験者平均点の90%
② 外国語学科英語専攻の場合：外国語学科英語専攻受験者の平均点
3. 3教科3科目すべてを受験した場合のみ合否判定を行います。1科目でも受験しなかった場合は合否判定の対象となりません。

〔17〕 合格者発表

2018(平成30)年2月21日(水)

次の(1)～(3)の方法により発表します。なお、本学への直接の合否の問い合わせには一切応じません。

- (1) 合格通知書等の送付
合格者には、発表当日の朝に「合格通知書」および「入学手続書類」を速達郵便で発送します。送付先は出願時に登録した住所となりますので、変更が生じた場合は入試センター入試課に連絡してください。なお、不合格者には通知書は送付しません。
- (2) 学内掲示
発表当日の午前10時に、本学構内に合格者受験番号を掲示します。
- (3) Web合否照会システム
利用可能期間：2018(平成30)年2月21日(水)11:00～2月27日(火)11:00
※時間帯によっては接続に時間がかかる場合がありますのでご承知おきください。

【Web合否照会システムでの合否の確認方法】

1. Web合否照会システムへアクセス
本学ホームページよりアクセスできます。
西南学院大学ホームページ：<http://www.seinan-gu.ac.jp/>

2. アクセスキーの入力
本人確認のため、以下の情報を入力してください。
①受験番号(数字7桁)
※受験票に記載の受験番号を入力してください。
※座席番号ではありませんのでご注意ください。
②誕生日(4桁)
例：5月15日 ⇒ 0515
3. 合否結果の確認
出願した入試制度、学部・学科(専攻)の合否結果がすべて表示されます。

【追加合格について】

入学手続状況により、欠員が生じた学科(専攻)については、以下の要領で追加合格者を決定し、通知する可能性があります。なお、事前に追加合格予定者としての通知は行いません。

第1回目:3月1日(木)の第一次納入金(入学申込金)締切後、追加合格者を決定し、3月3日(土)以降に該当者に郵送にて通知します。

第2回目:3月22日(木)の第二次納入金締切後、該当者に電話にて通知します。

※追加合格発表については、Web合否照会システムによる発表は行いません。

[18] 入学手続

合格者は、以下の要領で入学手続を行ってください。詳細については入学手続書類の記載に従ってください。

1. **2018(平成30)年3月1日(木)午後3時までに、入学時納入金を指定銀行に一括納入してください。**ただし、事情により入学時納入金の分割を希望する場合は、次の方法によることができます。

第一次納入金

3月1日(木)午後3時までに、入学申込金(入学金相当額)を指定銀行に納入してください。

第二次納入金

3月22日(木)午後3時までに、入学時納入金から入学申込金を差し引いた残額を指定銀行に納入し、入学時納入金を完納してください。

2. 合格通知送付の際に同封する**入学手続関係書類は3月22日(木)午後4時までに、本学学生課へ提出**してください。
3. **一括納入、第一次・第二次の納入期限は、いかなる事情があっても猶予いたしません。**
4. **入学手続の途中および完了後における入学学部・学科(専攻)の変更は認めません。**
5. 入学手続完了者には、特に請求がある場合のみ「入学許可証明書」を発行します。希望者は、振込金受取書を持参のうえ入試センター入試課まで申し出てください。手数料は100円です。
6. 入学時納入金を納入後、やむを得ない理由により入学を辞退する場合は、3月31日(土)までに所定の手続きにより申し出てください。入学申込金(入学金相当額)以外の納入金について返還いたします。詳細は、入学手続関係書類の「入学手続のしおり」でお知らせいたします。

《注意》 ① **第一次納入金(入学申込金)を納入せずに、第二次納入期間内[3月2日(金)~3月22日(木)]に入学時納入金全額を一括納入することは認めません。**

② **入学金・授業料等の振込みに際して、本人確認書類をご用意ください。**
(詳細は、共通事項のP63を参照してください。)

[19] 納入金

納入金に関する詳細は、共通事項のP63を参照してください。

[20] 一般入試における特別選考について

本学では一般入試における合格判定に際して、課外活動における成果を評価して、次の特別選考を実施しています。

1. 特別選考の範囲

次の選考基準に該当する者で、高校のクラブ部長（教員）および校長の推薦する者
体育関係

- (1) 全国大会出場者（団体種目での補欠は除く）
- (2) 国体出場者（同上）
- (3) 地方区制の地区大会（九州地区・西日本地区など）の出場者で、準決勝戦以上に
出場した者（同上）
- (4) 県大会出場者で、決勝戦に出場した者（同上）
- (5) (1)～(4)に該当しないが、団体種目等でチームの要として特に活躍した者
- (6) その他(1)～(5)に準ずる者で、特に能力・技術において優れた者

学術文化関係

- (1) 文化活動（音楽・絵画・工芸等）で全国大会において優秀な成績をあげた者（団
体種目での補欠は除く）
- (2) 文化活動（音楽・絵画・工芸等）で地方区制の地区大会（九州地区・西日本地区など）
において入賞もしくはそれに準ずる優秀な成績をあげた者（同上）
- (3) 実用英語技能検定準1級以上、英語通訳技能検定2級以上、TOEFL[®]-iBT61点
（TOEFL[®]-PBTの場合は500点）以上、TOEIC[®]620点以上のいずれかに該当する者、
または他の外国語でこれと同程度の公的資格を有する者
- (4) 簿記検定については、日本商工会議所の場合は2級以上、その他の場合は1級以上
を有する者
- (5) 情報処理技術者試験（経済産業省認定国家試験）合格者
- (6) その他(1)～(5)に準ずる者で、特に能力・資格において優れた者

2. 特別選考の手続き

特別選考の申し出は、次の書類を入学願書と共に提出してください。

- (1) **一般入試特別選考申込書** ※A4サイズにて、（表面）・（裏面）を両面印刷して使用
してください。

高校のクラブ部長（教員）、校長の推薦書を含む。なお、本人が記入する欄にお
ける本人印は必ず押印してください。

- (2) **活動成績を証明する資料または認定書等の写し**

「本人が出場した主な大会の成績・記録」に記載した事柄を証明する①②の資料
を必ず添付し（コピー可）、大会等の主催者および連絡先を付記してください。

なお、記載した競技大会が一般的に広く知れ渡っていない場合は、その参加資格
等を確認、判断できるものを必ず添付し、かつ、詳細に説明してください。

①順位や記録等を証明するもの（成績表、トーナメント表等）

②大会の規模・内容が判断できるもの（大会要項等）

また、その競技が団体、チーム競技の場合は、③④の資料もあわせて添付してください。

③当該団体等の1人として出願者本人が出場していたことが確認できるもの

④入賞していない場合は参加していることがわかるもの

3. 特別選考の募集人員

特別選考の募集人員は各学科（専攻）で若干名とします。

※A4サイズにて、(表面)・(裏面)を両面印刷して使用してください。

(表面)

●記入しないこと。

登録 番号	*	
----------	---	--

	神	英	文	英語専攻	フランス語 専攻	商	経	営	経	済	国際経済	法	律	国際関係法	児童教育	社会福祉	心	理	国際文化
学科(専攻)																			

注) 一般入試で受験する学科(専攻)欄すべてに○印を記入してください。

一般入試特別選考申込書

西南学院大学

本人記入欄	氏名	フリガナ										性別	男・女	
	現住所	〒 TEL ()												
	出身高校	都道府県	高等学校	卒業年 <small>(いずれかを○で囲む)</small>	平成30年3月卒業見込卒業(平成 年)									
	所属クラブ													
	身長 <small>(体育関係のみ記入)</small>						cm	体重 <small>(体育関係のみ記入)</small>						kg
	既往症													
	志望理由													

さりとてり線

本人が出場した主な大会の成績・記録

成績・記録が優れている順に記入してください。

注) 体育関係については、該当基準の(1)～(6)の大会規模をひとつの基準とします。

推 薦 者 が 記 入 す る 欄	出場年月	大会名	会場	成績・記録	役職・ポジション	
段位別のスポーツまたは資格取得の場合の段・級・得点		授与または認定者名				
走力 <small>※体育関係(5)、(6)該当者のみ記入</small>	50m・100m <small>(いずれかを○で囲む)</small>	秒	12分間走 3,000m・1,500m <small>(いずれかを○で囲む)</small>	分	m秒	
推薦理由 (通算記録・自己最高記録・得意技など本人の技能が、本制度に該当することを客観的に判断できるよう具体的に記入してください。)						
20 (平成)年 月 日						
クラブ部長 (教員) ⑩						
推薦者 問い合わせ先TEL () () - ()						
学 校 長 ⑩						

きりとり線

※この書類に記載された個人情報については、一般入試における特別選考の目的のみに使用し、その取り扱いについては、西南学院個人情報保護規程に則り、厳重かつ適正に行います。

[21] 一般入試の成績開示について

2018（平成30）年度一般入試の成績は、成績の開示を希望する受験者本人に限り、以下の方法により開示いたします。

なお、成績開示の内容については、成績開示を希望する受験者本人以外に公表することはありません。

1. 成績開示請求者
一般入試受験者

2. 開示内容
一般入試の受験学部・学科（専攻）における各試験科目の得点および合計点

3. 請求方法

○請求期間

2018（平成30）年3月2日（金）～3月30日（金）消印有効 ※請求期限は厳守してください。

○請求方法

・簡易書留郵便にて、①および②を同封のうえ、以下の請求先まで郵送してください。

①成績開示請求書（※ご記入の際は、P22の記入例をご参照ください。）

②512円分の郵便切手（送料：現金不可 過不足なく同封してください。）

※成績開示請求書は、出願書類と同封しないでください。

※封書の表面に「一般入試成績開示請求」と朱書してください。

○請求先

〒814-8511

福岡市早良区西新6-2-92

西南学院大学入試センター入試課

4. 開示方法

・書留郵便にて2018（平成30）年4月5日（木）以降に送付いたします。

5. その他

・受験番号の記載漏れなど成績開示請求書に記載された内容が不明瞭な場合、成績を送付できない場合があります。

・郵便事故などにおける責任は負いかねますので、ご了承ください。

記入例 成績開示請求書

2018(平成30)年3月3日

西南学院大学 入試センター入試課 宛て

以下の通り、2018(平成30)年度一般入試成績の開示を請求します。

本 人 が 記 入 す る こ と	受験者氏名	フリガナ セイナン タロウ 西南 太郎 印 ←必ず捺印すること				
	生年月日	昭和 平成 11 年 5 月 15 日生 <small>(いずれかを○で囲む)</small>				
	成績送付先	〒 814 - 8511 福岡 都・道・府・ 県 福岡 市 ・郡				
		早良 区 ・町・村 西新 6 - 2 - 92				
出身学校	福岡 都・道・府・ 県 西南学院 高等学校 <small>(高卒認定等の方は、その旨を記入のこと)</small>					
入試種別	試験日	受験学部・学科(専攻) 受験した学科(専攻)の□に✓印を記入	選択科目 ○印で囲む	受験番号 該当欄に番号を記入		
一般入試	A日程	2月5日(月)	人間科学部	<input checked="" type="checkbox"/> 児童教育学科	日・ 世 ・政経・地・数	1610001
				<input checked="" type="checkbox"/> 社会福祉学科	日・ 世 ・政経・地・数	1620001
				<input checked="" type="checkbox"/> 心理学科	日・ 世 ・政経・地・数	1630001
		2月6日(火)	文学部	<input type="checkbox"/> 英文学科	日・世・政経・地・数	
				<input checked="" type="checkbox"/> 外国語学科英語専攻	日・ 世 ・政経・地・数	1220001
			<input type="checkbox"/> 外国語学科フランス語専攻	日・世・政経・地・数		
	2月7日(水)	神学部	<input type="checkbox"/> 神学科	日・世・政経・地・数		
		経済学部	<input checked="" type="checkbox"/> 経済学科	日・ 世 ・政経・地・数	1410001	
			<input checked="" type="checkbox"/> 国際経済学科	日・ 世 ・政経・地・数	1420001	
	2月8日(木)	商学部	<input type="checkbox"/> 商学科	日・世・政経・地・数		
			<input type="checkbox"/> 経営学科	日・世・政経・地・数		
		国際文化学部	<input checked="" type="checkbox"/> 国際文化学科	日・ 世 ・政経・地・数	1710001	
	F日程	2月9日(金)	神学部	<input type="checkbox"/> 神学科	日・世・政経・地・数	
			文学部	<input type="checkbox"/> 英文学科	日・世・政経・地・数	
				<input type="checkbox"/> 外国語学科英語専攻	日・世・政経・地・数	
商学部		<input checked="" type="checkbox"/> 商学科	日・ 世 ・政経・地・数	1313001		
		<input type="checkbox"/> 経営学科	日・世・政経・地・数			
経済学部		<input type="checkbox"/> 経済学科	日・世・政経・地・数			
		<input type="checkbox"/> 国際経済学科	日・世・政経・地・数			
法学部		<input type="checkbox"/> 法律学科	日・世・政経・地・数			
	<input type="checkbox"/> 国際関係法学科	日・世・政経・地・数				
人間科学部	<input type="checkbox"/> 児童教育学科	日・世・政経・地・数				
	<input type="checkbox"/> 社会福祉学科	日・世・政経・地・数				
	<input type="checkbox"/> 心理学科	日・世・政経・地・数				
国際文化学部	<input type="checkbox"/> 国際文化学科	日・世・政経・地・数				

注) 黒のボールペンで記入してください。

* 選択科目の略称 日:日本史、世:世界史、政経:政治・経済、地:地理、数:数学

注) 返送料(512円分の切手)を同封してください。

成績開示請求書

2018(平成30)年3月 日

西南学院大学 入試センター入試課 宛て

以下の通り、2018(平成30)年度一般入試成績の開示を請求します。

本 人 が 記 入 す る こ と	受験者氏名	フリガナ				印	←必ず捺印すること
	生年月日	昭和・平成 年 月 日生 <small>(いずれかを○で囲む)</small>					
	成績送付先	〒 都・道・府・県		市・郡			
		区・町・村					
出身学校	都・道・府・県		高等学校			<small>(高卒認定等の方は、その旨を記入のこと)</small>	
入試種別	試験日	受験学部・学科(専攻) 受験した学科(専攻)の□に✓印を記入			選択科目 ○印で囲む	受験番号 該当欄に番号を記入	
一般入試	A日程	2月5日(月)	人間科学部	<input type="checkbox"/> 児童教育学科	日・世・政経・地・数		
				<input type="checkbox"/> 社会福祉学科	日・世・政経・地・数		
				<input type="checkbox"/> 心理学科	日・世・政経・地・数		
		2月6日(火)	文学部	<input type="checkbox"/> 英文学科	日・世・政経・地・数		
				<input type="checkbox"/> 外国語学科英語専攻	日・世・政経・地・数		
				<input type="checkbox"/> 外国語学科フランス語専攻	日・世・政経・地・数		
	2月7日(水)	法学部	<input type="checkbox"/> 法律学科	日・世・政経・地・数			
			<input type="checkbox"/> 国際関係法学科	日・世・政経・地・数			
		神学部	<input type="checkbox"/> 神学科	日・世・政経・地・数			
	2月8日(木)	経済学部	<input type="checkbox"/> 経済学科	日・世・政経・地・数			
			<input type="checkbox"/> 国際経済学科	日・世・政経・地・数			
		商学部	<input type="checkbox"/> 商学科	日・世・政経・地・数			
			<input type="checkbox"/> 経営学科	日・世・政経・地・数			
		国際文化学部	<input type="checkbox"/> 国際文化学科	日・世・政経・地・数			
	F日程	2月9日(金)	神学部	<input type="checkbox"/> 神学科	日・世・政経・地・数		
			文学部	<input type="checkbox"/> 英文学科	日・世・政経・地・数		
				<input type="checkbox"/> 外国語学科英語専攻	日・世・政経・地・数		
				<input type="checkbox"/> 外国語学科フランス語専攻	日・世・政経・地・数		
商学部			<input type="checkbox"/> 商学科	日・世・政経・地・数			
			<input type="checkbox"/> 経営学科	日・世・政経・地・数			
経済学部			<input type="checkbox"/> 経済学科	日・世・政経・地・数			
			<input type="checkbox"/> 国際経済学科	日・世・政経・地・数			
法学部			<input type="checkbox"/> 法律学科	日・世・政経・地・数			
			<input type="checkbox"/> 国際関係法学科	日・世・政経・地・数			
人間科学部			<input type="checkbox"/> 児童教育学科	日・世・政経・地・数			
			<input type="checkbox"/> 社会福祉学科	日・世・政経・地・数			
	<input type="checkbox"/> 心理学科	日・世・政経・地・数					
国際文化学部	<input type="checkbox"/> 国際文化学科	日・世・政経・地・数					

注) 黒のボールペンで記入してください。

*選択科目の略称 日:日本史、世:世界史、政経:政治・経済、地:地理、数:数学

注) 返送料(512円分の切手)を同封してください。

さりとて線

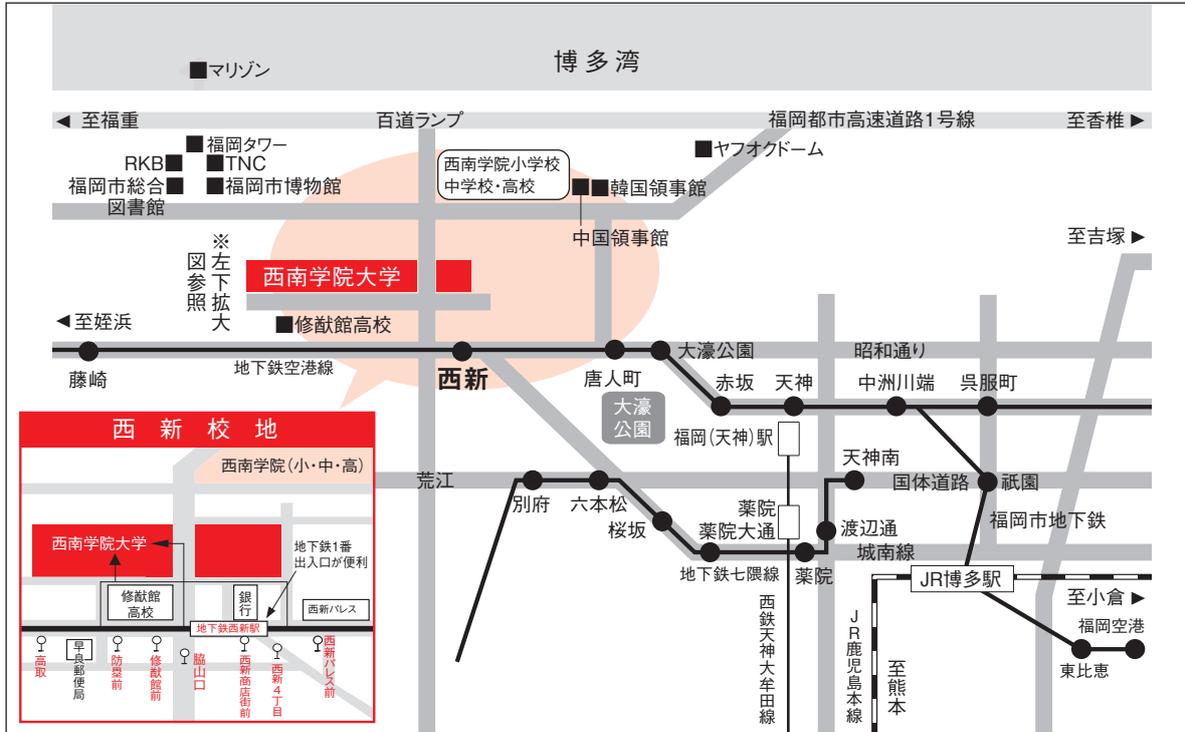
[22] 試験場への交通案内

各試験場とも駐車場・駐輪場はありません。また、自家用車、タクシー等利用の場合、乗降は速やかに行い、試験場出入口周辺での長時間の停車は一般車両の通行の妨げとなりますのでご遠慮ください。

●本学試験場【西南学院大学 西新校舎】

〒814-8511 福岡市早良区西新6-2-9 2

TEL (092) 823-3366 (直通) FAX (092) 823-3388



- ◆地下鉄……福岡市地下鉄空港線にて、福岡空港駅、博多駅、天神駅より西唐津・筑前原・姪浜・西新行きに乗車し、西新駅で下車(福岡空港駅から約19分、博多駅から約13分、天神駅から約7分)。1番出入口から出て北へ徒歩約5分。
- ◆市内バス…博多駅福岡交通センターまたは天神から西鉄市内バス西新、早良営業所、飯倉、室見、姪浜方面行きに乗車し、西新パレス前、脇山口、修猷館前、または防塁前下車(博多駅福岡交通センターから約35分、天神から約20分)。北へ徒歩約5分。
- ◆JR博多駅から本学までタクシーで約30分、2,000円程度。

【本学試験場受験者へお願い】

- ・駐車場・駐輪場はありません。可能な限り、公共の交通機関をご利用ください。
- ・入試当日は交通混雑が予想されますので、余裕をもって出かけてください。
- ・自家用車、タクシー等での送迎による乗降については、バス通りで速やかに行ってください。
- ・**受験者送迎のための大学周辺の私有地(コンビニエンスストア駐車場など)への駐停車は、周辺住民や所有者(利用者)に多大なるご迷惑をおかけしますので、絶対にやめてください。**
- ・脇山口交差点から本学にかけての歩道は時間帯によって大変混雑します。無理な横断は危険ですので必ず横断歩道をご利用ください。誘導係員の指示に従ってスムーズな往来をお願いいたします。

東京試験場

〔サピアタワー〕 ■東京都千代田区丸の内1丁目7-12 サピアタワー F日程のみ



- JR東京駅
新幹線専用改札口(日本橋口)より徒歩1分
八重洲北口改札口より徒歩3分
- 地下鉄東西線大手町駅より
B7出口直結(サピアタワー地下入口)

広島試験場

〔RCC文化センター〕

■広島市中区橋本町5-11

全日程



- JR広島駅南口より徒歩10分
- 広島電鉄 銀山町電停より徒歩5分

山口試験場

〔山口グランドホテル〕

■山口市小郡黄金町1-1

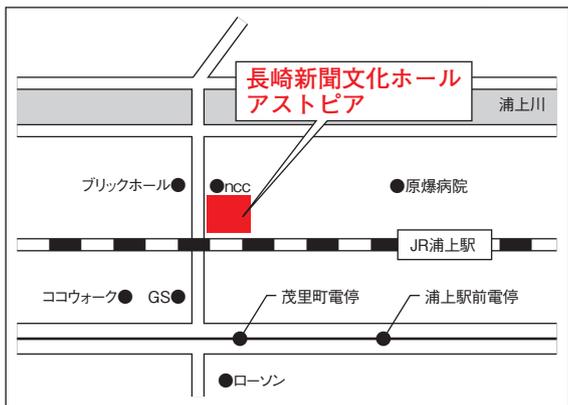
全日程



- JR新山口駅 新幹線口より徒歩1分
- 宇部空港より車で40分
- 小郡ICより車で7分

長崎試験場

〔長崎新聞文化ホール アストピア〕 ■長崎市茂里町3-1 全日程



- JR浦上駅より徒歩3分
- 茂里町電停より徒歩2分

熊本試験場

[ホテル メルパルク熊本]

■熊本市中央区水道町14-1

全 日 程



- JR熊本駅より車で10分
- JR熊本駅より市電 水道町駅下車徒歩3分

大分試験場

[大分県労働福祉会館ソレイユ]

■大分市中央町4-2-5

全 日 程



- JR大分駅より徒歩10分
- 大分バス末広バス停より徒歩3分
- 大分交通OASISひろば21バス停より徒歩1分

宮崎試験場

[KITENビル コンベンションホール]

■宮崎市錦町1-10 KITENビル8階

全 日 程



- 宮崎空港より車で20分
- JR宮崎駅西口より徒歩1分
- 宮崎ICより車で15分

鹿児島試験場

[ホテル セントコスモ]

■鹿児島市山之口町2-7

全 日 程



- JR鹿児島中央駅から市電 高見馬場駅下車徒歩2分
- 鹿児島空港からバスで50分 天文館下車徒歩3分

沖縄試験場

[沖縄県市町村自治会館]

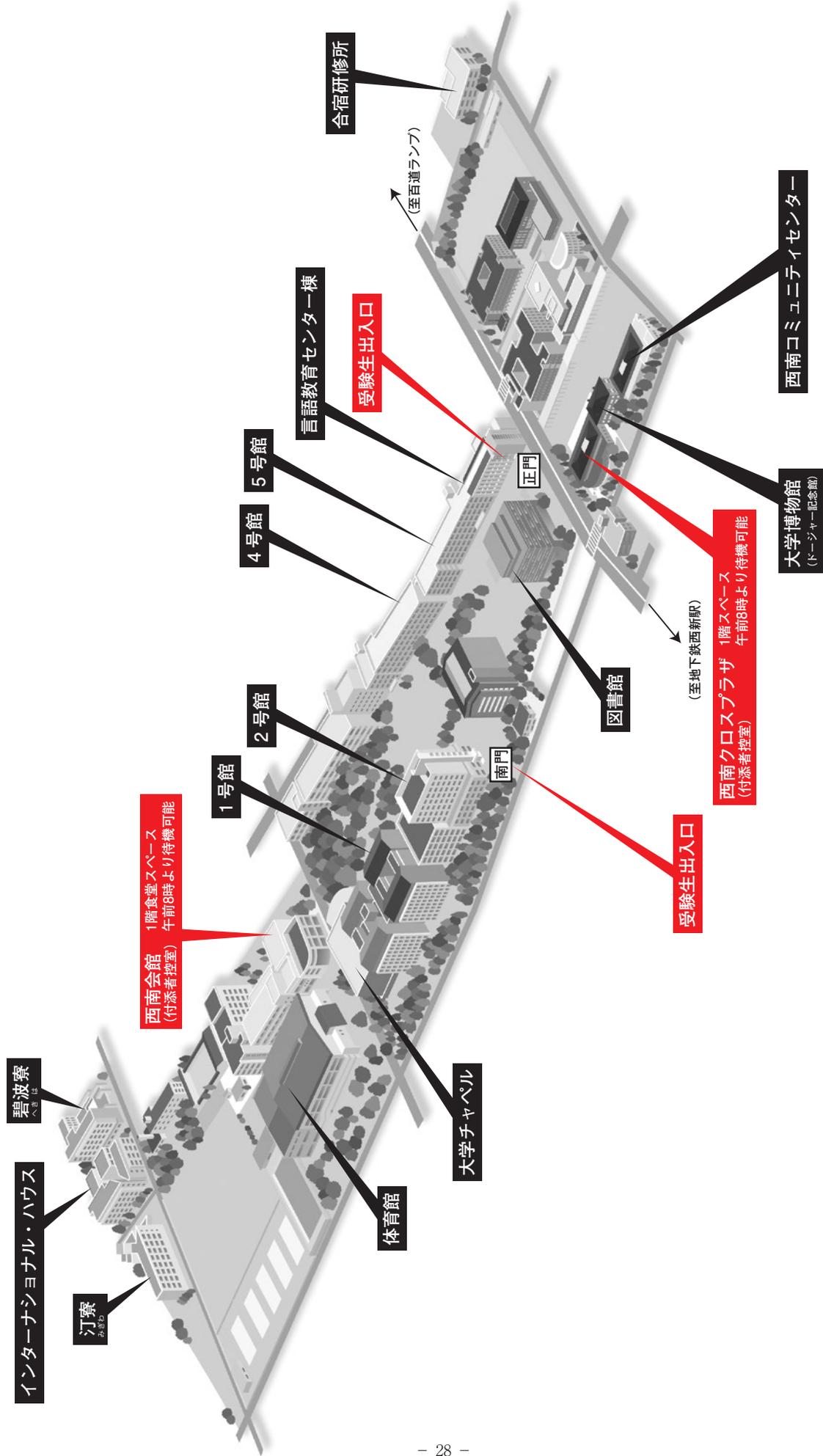
■那覇市旭町116-37

F日程のみ



- モノレール旭橋駅から徒歩5分
- バスターミナルから徒歩3分

[23] 学内見取図



2018(平成30)年度

西南学院大学受験生 宿泊案内

西南学院大学の受験生で宿泊を希望される方には、(株)JTB九州が当社指定の福岡・広島・山口・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄のホテルを斡旋します。希望される方は下記の条件等を検討のうえお申し込みください。

1. 宿泊料金およびその他の条件

(1) Aランク (例:福岡地区:「ヒルトン福岡シーホーク」
…試験場より徒歩15分)

記号	部屋	食 事	そ の 他	宿泊料金 (1人当り)
イ	1人部屋 (シングル)	1泊2食付 (税・サービス料込み)	バス・トイレ付	18,000円～
ロ	2人部屋 (ツイン)	1泊2食付 (税・サービス料込み)	バス・トイレ付	16,000円～

(2) Bランク (例:福岡地区:「ザ・レジデンシャルスイート・福岡」…試験場より徒歩10分)

記号	部屋	食 事	そ の 他	宿泊料金 (1人当り)
イ	1人部屋 (シングル)	1泊2食付 (税・サービス料込み)	バス・トイレ付	14,000円～
ロ	2人部屋 (ツイン)	1泊2食付 (税・サービス料込み)	バス・トイレ付	12,000円～

(3) Cランク (例:福岡地区:「サンライフホテル2・3」…JR博多駅(地下鉄)より徒歩1分)

記号	部屋	食 事	そ の 他	宿泊料金 (1人当り)
イ	1人部屋 (シングル)	1泊2食付 (税・サービス料込み)	バス・トイレ付	10,000円～
ロ	2人部屋 (ツイン)	1泊2食付 (税・サービス料込み)	バス・トイレ付	9,500円～

(注) 1人部屋または2人部屋は室数の関係上早めに申し込んでください。なお、満室になった場合は第2希望へ変更させていただきます。

(注) 正式料金は申込時に改めてご連絡致します。

2. 申 込 要 領

- 「受験生ホテル宿泊申込書」(下記)をご記入いただき、FAX 092(751)9200または、郵送にてJTB九州へお申し込みください。
- ホテル手配完了後、JTB九州より申込住所宛に「宿泊確認書」と「ご請求書」をお送ります。

3. 申込書記入要領

- 必要事項を記入し、該当希望箇所に○印をつけてください。なお、第2希望欄にも必ず○印をつけてください。
- 同室希望者がある場合は、備考欄に志望学部・氏名を記入し、同室希望者と同時に各自の「受験生ホテル宿泊申込書」をFAXまたは郵送にてお申し込みください。
- また、同じホテルの希望者がある場合も上記(2)同様、備考欄に志望学部・氏名を記入し、同じホテル希望者とともに各自の「受験生ホテル宿泊申込書」をFAXまたは郵送にてお申し込みください。

4. 予約取消の場合の料金について

予約を取消される場合は、お申し出の日時により、取消料をいただきます。

- 宿泊日の4日前まで……………無料
 - 宿泊日の3日前～前日まで……………宿泊料金の20%
 - 宿泊当日(17時まで)……………宿泊料金の50%
 - 宿泊当日(17時以降)……………宿泊料金の100%
- ※ ただし、いずれの場合も返送に要する手数料は、送金額より差し引かせていただきます。

5. 申込締切日

2018(平成30)年1月12日(金)

(できるだけお早めにお申し込みください)

6. 申込書提出先および連絡(照会)先

〒810-0072 福岡市中央区長浜1-1-35 新KBCビル1F

交流共創事業部

「西南学院大学受験生宿泊係」

TEL: 092 (712) 6142 FAX: 092 (751) 9200

月～金曜 9:30～17:30 ※土・日曜、祝祭日休業

●個人情報について

当社は申込書等に記載された個人情報について、お客様との連絡のために利用させていただく他、運送・宿泊機関等の提供するサービスの手配、受領のための手続きに必要な範囲内でのみ利用いたします。

FAX 092(751)9200

2018(平成30)年度 西南学院大学受験生ホテル(ジェイティービー協定)宿泊申込書

受験場所(試験場)に○印をつけて下さい。(受験場所 福岡・広島・山口・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄)

志望学部	学部	ふりがな		緊急連絡先 TEL	備考
		氏名		印	
住所 (連絡先)	〒				TEL
宿泊人数	受験生	男・女	宿泊日	月 日	夕食より 月 日朝食まで
	付添人	男 名・女 名		泊 日間	
希望部屋	第1希望	ランク	Aランク・Bランク・Cランク	イ. (1人部屋)	ロ. (2人部屋)
	第2希望	ランク	Aランク・Bランク・Cランク	イ. (1人部屋)	ロ. (2人部屋)
宿泊料金	(1泊の宿泊料金)		(合計)		
	(円) ×	(名) ×	(泊) =	(円)	

2018(平成30)年度
西南学院大学受験生 宿 泊 案 内

(広島試験場受験生のみ)

広島試験場で受験される方の宿泊については、広島受験旅館同業組合が旅館を斡旋します。
宿泊希望者は組合事務所までお申し込みください。

当組合員の各旅館は、受験生には最高のコンディションで受験できるよう、特に細心の注意を払い万全を期しておりますのでご安心してお泊まりください。

◎宿泊の斡旋については当組合が責任を負います。

宿 泊 料

・1人1泊2食つき(税金、サービス料込み)

A	10,500円	1室1名
B	9,000円	1室1名または2名
C	8,000円	1名より4名まで(和室)

—ご宿泊申込み方法—

下記申込書にご記入の上、予約金1名につき5,000円を添え現金書留でお申し込みください。

後日宿泊旅館より宿泊案内状をお送りいたします(予約金のご送付のない方は室の確保はできません)。予約金は宿泊料に充当いたします。

ご宿泊申し込みとお問い合わせは

〒732-0828 広島市南区京橋町2番28号
広島受験旅館同業組合 受 験 係
TEL 082(262)6202 FAX 082(263)5985

旅館への交通案内は宿泊案内状に書いてあります。

2018(平成30)年度

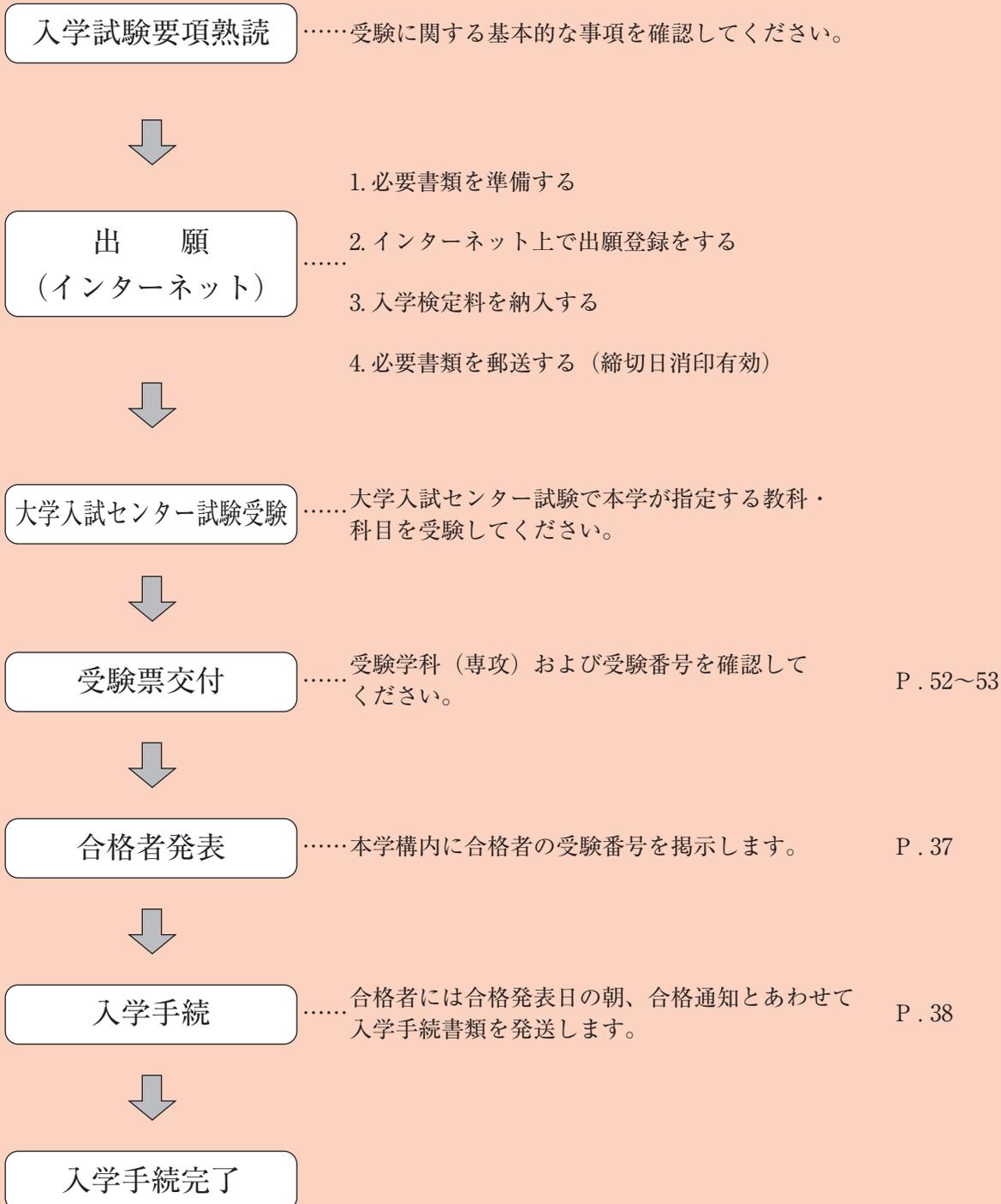
宿泊申込書(広島受験旅館同業組合)

西南学院大学 広島試験場用

フリガナ氏名		住所	〒(-)		
電 話	() -				
宿泊人員	受験生	男 名・女 名	宿泊日	月 日	夕食より
	付添人	男 名・女 名		月 日	朝食まで
宿泊料	希望ランクを○で囲んでください。		A	B	C
予 約 金	(予約金)5,000円 × 名分 =				円
(備 考)					

Ⅳ 大学入試センター試験利用入試【前期】

(参照ページ)



〔1〕 出 願 期 間

2018(平成30)年1月5日(金)から1月12日(金)まで[消印有効]

出願はインターネット出願に限ります。一般入試とは出願締切日が異なりますので注意してください。なお、出願締切日直前の取扱いについては〔7〕出願上の注意を参照してください。

出願期間 (インターネットの入力期間)	検定料納入期間	必要書類送付期間
2018年1月 5日(金) 9時～ 1月12日(金)23時00分	2018年1月 5日(金) 9時～ 1月12日(金)23時59分	2018年1月 5日(金)～ 1月12日(金)消印有効 ※出願締切日の前日から窓口持参可

〔2〕 募集学部・学科(専攻)、募集人員、試験教科・科目、配点、総点

学 部	学科(専攻)	募集人員	試験教科	科 目	配点	総点		
文学部	英文学科	6名	国 語	「国語」	200	700		
			外国語	「英語」(リスニングを含む。)	200			
			地理歴史	「世界史B」「日本史B」「地理B」	7科目から 1科目※		100	
			公 民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」	100			
			数 学	「数学I・数学A」「数学II・数学B」から1科目※	100			
	外国語学科 英語専攻	9名	理 科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目※	100			
			国 語	「国語」	200			
			外国語	「英語」(リスニングを含む。)	300			
			地理歴史	「世界史B」「日本史B」「地理B」	7科目から 1科目※	100		
			公 民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」	100			
	外国語学科 フランス語専攻	4名	数 学	「数学I・数学A」「数学II・数学B」	10科目から 1科目※	100		
			理 科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目※	100			
			国 語	「国語」	200			
			外国語	「英語」「フランス語」「ドイツ語」「中国語」「韓国語」から1科目(「英語」はリスニングを含む。)	200			
			地理歴史	「世界史B」「日本史B」「地理B」	7科目から 1科目※	100		
商学部	商学科	7名	公 民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」	100	700		
			数 学	「数学I・数学A」「数学II・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1科目※	100			
	経営学科	7名	理 科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目※	100			
			国 語	「国語」	200			
	経済学部	経済学科 国際経済学科	15名 10名	外国語	「英語」(リスニングを含む。)		200	
				地理歴史	「世界史B」「日本史B」「地理B」		7科目から 1科目※	100
				公 民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」		100	
数 学				「数学I・数学A」「数学II・数学B」から1科目※	100			
理 科				「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目※	100			
法学部	法律学科	12名	国 語	「国語」	200	800		
			外国語	「英語」(リスニングを含む。)	200			
			地理歴史	「世界史B」「日本史B」「地理B」	7科目から 1科目※		100	
	国際関係法学科	4名	公 民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」	100			
			数 学	「数学I・数学A」 「数学II・数学B」	100			
			理 科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目※	100			
人間科学部	児童教育学科	5名	国 語	「国語」	200	800		
			外国語	「英語」(リスニングを含む。)	200			
			地理歴史	「世界史B」「日本史B」「地理B」	7科目から 1科目※		100	
			公 民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」	100			
			数 学	「数学I・数学A」 「数学II・数学B」	100			
	社会福祉学科	10名	理 科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目※	100			
			国 語	「国語」	200			
			外国語	「英語」(リスニングを含む。)	200			
			地理歴史	「世界史B」「日本史B」「地理B」	7科目から 1科目※	100		
			公 民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」	100			

大学入試センター
試験利用入試(前期)

学部	学科(専攻)	募集人員	試験教科	科目	配点	総点	
人間科学部	心理学科	13名	国語	「国語」	200	800	
			外国語	「英語」(リスニングを含む。)	200		
			地理歴史	「世界史B」「日本史B」「地理B」	7科目から 1科目※		100
			公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」			
			数学	「数学I・数学A」	100		
			理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目※	100		
国際文化学部	国際文化学科	13名	国語	「国語」	200	800	
			外国語	「英語」(リスニングを含む。)	200		
			地理歴史	「世界史B」「日本史B」「地理B」	7科目から 1科目※		200
			公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」			
			数学	「数学I・数学A」「数学II・数学B」から1科目※	100		
			理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目※	100		
合計		115名					

- (注1) いずれの学部・学科(専攻)においても、個別試験は実施しません。
- (注2) 「英語」については、筆記200点、リスニング50点、合計250点を200点(文学部外国語学科英語専攻は300点)に換算します。
- (注3) 国際文化学部国際文化学科において「地理歴史」、「公民」については、100点を200点に換算します。
- (注4) ※の教科において2科目以上受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用します。ただし、「地理歴史」と「公民」、また、「理科」の基礎を付していない科目において2科目以上受験した場合は、それぞれ第1解答科目を使用します。受験する学部・学科(専攻)が指定する教科・科目を第1解答科目で受験せずに、第2解答科目でのみ受験した場合は、当該教科・科目を0点として取扱います。
- (注5) 「理科」の基礎を付した科目については、2科目を1科目として使用します。
- (注6) 以下の資格・検定試験において、基準となるスコアを取得した者については、「英語」の得点を満点として取扱います。(別途、資格を証明する書類の提出が必要です。)
- (注7) 以下の資格・検定試験の基準となるスコアを取得し、本入試において活用する場合は、大学入試センター試験における「英語(リスニングテストを含む)」の受験は必須ではありません。

試験名称	基準スコア	提出書類
ケンブリッジ英検	FCE以上	①Confirmation of Entry(受験票)のコピー ②合格証明書のコピー
実用英語技能検定	準1級以上	合格証明書の原本
GTEC CBT	1160点以上	Score Reportの原本
IELTS	5.5以上	Test Report Formのコピー
TEAP(R/L+W+S)	334点以上	OFFICIAL SCORE REPORT(成績表)の原本
TOEFL iBT®	72点以上(ITPテストは除く)	Examinee Score ReportまたはTest Taker Score Reportのコピーを出願書類と一緒に本学に送付し、あわせて必ずOfficial Score Reportをテスト機関から直接本学に送付されるように手配してください。本学のInstitution (DI) CodeはB668です。
TOEFL Junior® Comprehensive	341点以上	Official Score Reportの原本
TOEIC®Listening & Reading Test(以下TOEIC®L&R) TOEIC®Speaking & Writing Tests(以下TOEIC®S&W)	TOEIC®L&R785点以上かつ TOEIC®S&W310点以上(IPテストは除く)	各 Official Score Certificateの原本

※2016(平成28)年2月1日以降に取得したものに限りです。

※TOEIC®テストは、TOEIC®Listening & Reading Testに名称変更いたしました。Official Score Certificateは名称変更前のものも提出いただけます。

〔3〕 選考方法

1. いずれの学部・学科(専攻)においても「平成30年度大学入試センター試験」における各教科・科目の総合点で判定し、**本学の個別試験は実施しません。**
2. 大学入試センター試験において**本学が指定する教科・科目を受験していなかった場合は、科目不足となり、合否判定の対象外となります。**
3. 平成29年度以前の大学入試センター試験の成績は利用できません。

〔4〕 出願資格

次のいずれかに該当する者で、「平成30年度大学入試センター試験」において本学が指定する教科・科目を受験する者

1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者および2018(平成30)年3月卒業見込みの者
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2018(平成30)年3月修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2018(平成30)年3月までにこれに該当する見込みの者
 - ア. 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および2018(平成30)年3月までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で、文部科学大臣の指定した者
 - イ. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および2018(平成30)年3月までに修了見込みの者
 - ウ. 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および2018(平成30)年3月までに修了見込みの者

- エ. 文部科学大臣の指定した者
- オ. 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)による大学入学資格検定に合格した者を含む)および2018(平成30)年3月合格見込みの者
- カ. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者および2018(平成30)年3月までにこれに該当する見込みの者で、18歳に達した者

〔5〕 出 願 書 類

1. 調 査 書

- (1) 出身学校において、文部科学省所定の様式により**2017(平成29)年10月1日以降**に作成・厳封したものを1通提出してください。**一般入試、一般・センター併用型入試との併願や複数学科(専攻)を併願する際に、1つの出願用封筒にまとめる場合、調査書は1通で構いません。**
- (2) 次に該当する人は、それぞれ必要な書類を1通提出してください。
 - ① 高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者および大学入学資格検定合格者は、**合格(見込)成績証明書**を提出してください。
 ※「合格証明書」は不可。
 ※免除科目、免除見込科目がある場合、その科目の「単位修得(見込)証明書」(履修した高等学校で発行する証明書で、科目ごとの修得単位数が記載されたもの)は提出不要です。
 - ② 文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者は、当該課程の成績証明書を提出してください。
 - ③ 外国と日本の高等学校に在学していた場合は、外国の高等学校における在学全期間の成績証明書と、日本の高等学校の調査書を提出してください。
 - ④ 外国における高等学校を卒業した者は、卒業証明書(または卒業証書の写し)と在学全期間の成績証明書を提出してください。

《注意》イ. 外国の高等学校に在学した場合でも、日本の高等学校の全課程を修了した者は、日本の高等学校の調査書のみ提出してください。
 ロ. 廃校、被災などによって調査書の交付が受けられない場合は、これに代わる証明書が必要です。
2. 顔 写 真(縦4cm×横3cm)裏面に氏名および生年月日を明記してください。
3. 平成30年度大学入試センター試験成績請求票(私立大学・公私立短期大学用)

〔6〕 入 学 検 定 料

1学科(専攻)につき 16,000円

ただし、大学入試センター試験利用入試(前期)内において併願する場合は、2出願目から10,000円

1. **併願した場合の入学検定料割引(2出願目から10,000円)の対象となるのは、同一の出願番号で出願した場合に限ります。**
2. いったん納付した入学検定料の返還には、一切応じません。

〔7〕 出 願 上 の 注 意

1. 学部・学科(専攻)間において、**最大10併願まで可能です。**
2. 出願に必要な書類をそろえ、市販の封筒(サイズは角2または長3)にインターネット出願登録完了画面に表示される宛名ラベルを貼付、もしくは宛名ラベルの内容を封筒に転記し郵送してください。
3. 郵便は必ず「速達簡易書留便」としてください。普通便で郵送した場合、万一事故がおこっても本学では責任を負いません。
4. **出願締切日 [1月12日(金)] 消印有効です。一般入試とは出願締切日が異なりますので注**

意してください。

ただし、出願締切日前日および出願締切日当日に限り、大学への直接持参を認めます。

持参場所：大学2号館8階「西南学院大学入試事務室」

なお、出願期間後はどのような事情があっても受け付けません。

5. **入学検定料納入後は、志願学科（専攻）の変更および出願の取り消しはできませんので、十分考慮して出願してください。**
6. 本学における個別の入学資格審査による出願の場合は、事前に必ず入試センター入試課にできるだけ早く問い合わせてください。

〔8〕 受験票交付・見本

受験票交付・見本に関する詳細は、共通事項のP60～61を参照してください。

〔9〕 合格者発表

2018(平成30)年2月21日(水)

次の(1)～(3)の方法により発表します。なお、本学への直接の合否の問い合わせには一切応じません。

- (1) 合格通知書等の送付
合格者には、発表当日の朝に「合格通知書」および「入学手続書類」を速達郵便で発送します。送付先は出願時に登録した住所となりますので、変更が生じた場合は入試センター入試課に連絡してください。なお、不合格者には通知書は送付しません。
- (2) 学内掲示
発表当日の午前10時に、本学構内に合格者受験番号を掲示します。
- (3) Web合否照会システム
利用可能期間：2018(平成30)年2月21日(水)11:00～2月27日(火)11:00
※時間帯によっては接続に時間がかかる場合がありますのでご承知おきください。

【Web合否照会システムでの合否の確認方法】

1. Web合否照会システムへアクセス
本学ホームページよりアクセスできます。
西南学院大学ホームページ：<http://www.seinan-gu.ac.jp/>
2. アクセスキーの入力
本人確認のため、以下の情報を入力してください。
①受験番号(数字7桁)
※受験票に記載の受験番号を入力してください。座席番号ではありません。
②誕生日(4桁)
例：5月15日⇒0515
3. 合否結果の確認
出願した入試制度、学部・学科(専攻)の合否結果がすべて表示されます。

【追加合格について】

入学手続状況により、欠員が生じた学科(専攻)については、以下の要領で追加合格者を決定し、通知する可能性があります。なお、事前に追加合格予定者としての通知は行いません。

第1回目：3月1日(木)の第一次納入金(入学申込金)締切後、追加合格者を決定し、3月3日(土)以降に該当者に郵送にて通知します。

第2回目：3月22日(木)の第二次納入金締切後、該当者に電話にて通知します。

※追加合格発表については、Web合否照会システムによる発表は行いません。

[10] 入学手続

合格者は、以下の要領で入学手続を行ってください。詳細については入学手続書類の記載に従ってください。

1. **2018(平成30)年3月1日(木)午後3時まで**に、入学時納入金を指定銀行に一括納入してください。ただし、事情により入学時納入金の分割を希望する場合は、次の方法によることができます。

第一次納入金

3月1日(木)午後3時までに、入学申込金（入学金相当額）を指定銀行に納入してください。

第二次納入金

3月22日(木)午後3時までに、入学時納入金から入学申込金を差し引いた残額を指定銀行に納入し、入学時納入金を完納してください。

2. 合格通知送付の際に同封する**入学手続関係書類は3月22日(木)午後4時まで**に、本学学生課へ提出してください。
3. 大学入試センター試験利用入試（前期）の合格者は、入学手続関係書類として「平成30年度大学入試センター試験受験票」が必要です。入学手続完了まで保管しておいてください。
4. **一括納入、第一次・第二次の納入期限は、いかなる事情があっても猶予いたしません。**
5. 入学手続の途中および完了後における入学学部・学科（専攻）の変更は認めません。
6. 入学手続完了者には、特に請求がある場合のみ「入学許可証明書」を発行します。希望者は、振込金受取書を持参のうえ入試センター入試課まで申し出てください。手数料は100円です。
7. 入学時納入金を納入後、やむを得ない理由により入学を辞退する場合は、3月31日(出)までに所定の手続きにより申し出てください。入学申込金（入学金相当額）以外の納入金について返還いたします。詳細は、入学手続関係書類の「入学手続のしおり」でお知らせいたします。

《注意》 ① **第一次納入金（入学申込金）を納入せずに、第二次納入期間内 [3月2日(金)～3月22日(木)] に入学時納入金全額を一括納入することは認めません。**

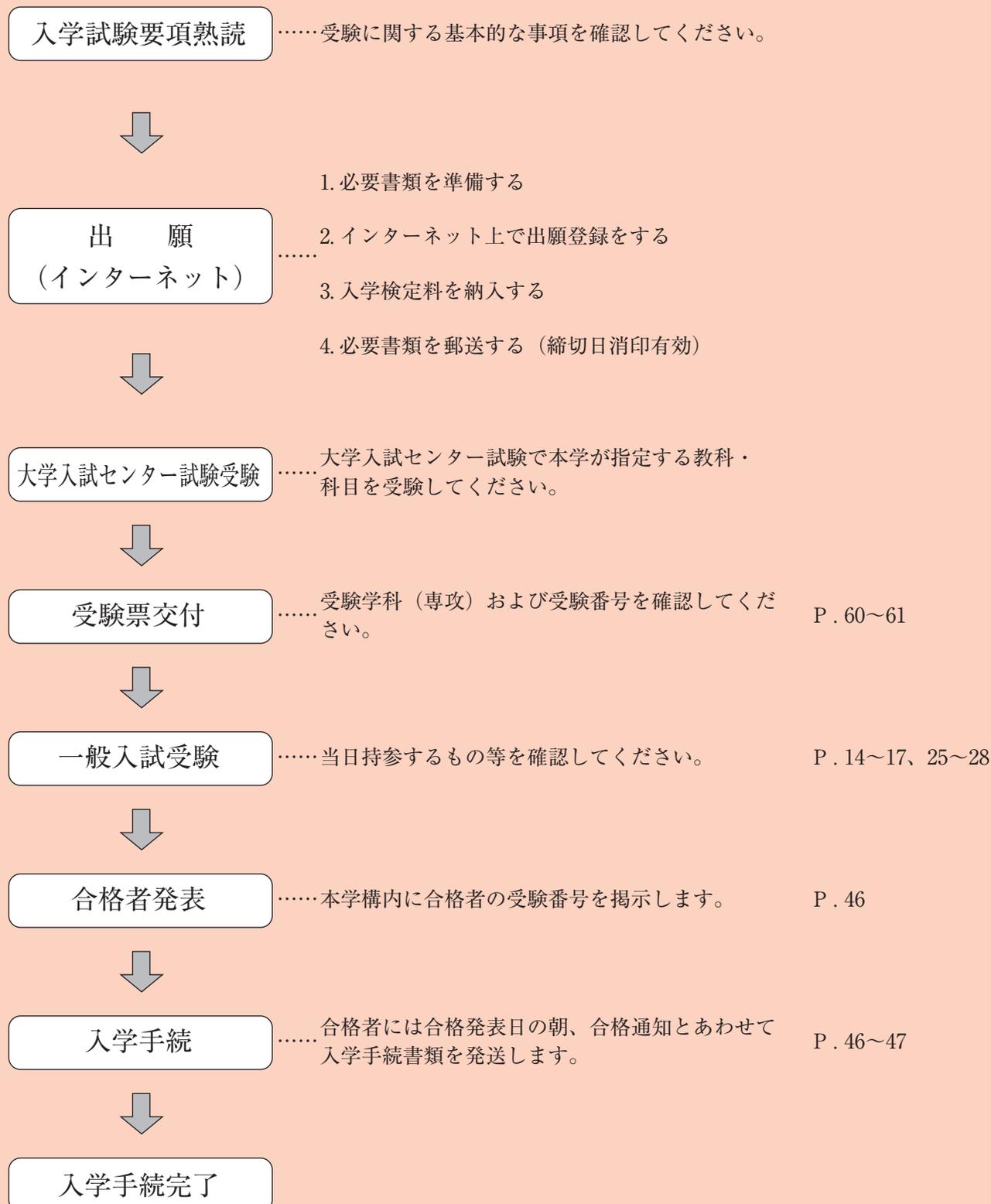
- ② **入学金・授業料等の振込みに際して、本人確認書類をご用意ください。**
(詳細は、共通事項のP63を参照してください。)

[11] 納入金

納入金に関する詳細は、共通事項のP63を参照してください。

Ⅳ 一般・センター併用型入試

(参照ページ)



〔1〕 出願の対象者と出願条件

本入試（一般・センター併用型入試）に出願できる方は、以下の条件に該当する方が対象となります。

1. 本入試は、実施学部・学科（専攻）において**本学一般入試（A日程、F日程）で該当する試験日に出願する者を対象**とします。（いずれの学部・学科（専攻）においても**一般・センター併用型入試のみの出願は認められません。**）
2. 本入試は、一般入試のA・F日程と同一試験日での出願となります。異なる試験日での出願は認められません。ただし、**同一試験日内での同じ学科または異なる学科の出願は可能です。**
3. すべての学部・学科（専攻）とも、**必ず一般入試の3科目すべてを受験していること。ただし、経済学部経済学科においては、一般入試の選択科目は「数学」を必須とします。**
4. 大学入試センター試験において、**各学科（専攻）の出願に必要な科目を受験していること。**
※必要な科目を受験していなかった場合は、科目不足となり、合否判定の対象外となります。

〔2〕 出 願 期 間

2018(平成30)年1月5日(金)から1月12日(金)まで[消印有効]

出願はインターネット出願に限ります。

一般入試とは出願締切日が異なりますので注意してください。

なお、出願締切日直前の取扱いについては〔8〕出願上の注意を参照してください。

出願期間 (インターネットの入力期間)	検定料納入期間	必要書類送付期間
2018年1月 5日(金) 9時～ 1月12日(金) 23時00分	2018年1月 5日(金) 9時～ 1月12日(金) 23時59分	2018年1月 5日(金)～ 1月12日(金) 消印有効 ※出願締切日の前日から窓口持参可

〔3〕 大学入試センター試験の「地理歴史」と「公民」、また、「理科」における第1解答科目と第2解答科目の取扱いについて

【文学部、商学部、人間科学部(児童教育学科)】

「地理歴史」と「公民」、また、「理科」の基礎を付していない科目において2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に使用します。

※受験する学部・学科（専攻）が指定する教科・科目を第1解答科目で受験せずに、第2解答科目でのみ受験した場合は、当該教科・科目を0点として取扱います。

【経済学部、法学部、人間科学部(社会福祉学科、心理学科)、国際文化学部】

「地理歴史」と「公民」、また、「理科」の基礎を付していない科目において2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に使用することとし、第2解答科目は第1解答科目が採用され、かつ当該科目との組合せの合計点が最も高得点となる場合のみ合否判定に使用します。

※受験する学部・学科（専攻）が指定する教科・科目を第1解答科目で受験せずに、第2解答科目でのみ受験した場合は、当該教科・科目を0点として取扱います。

[4] 募集学部・学科(専攻)、募集人員、試験教科・科目、配点、総点

学部	学科(専攻)	募集人員	試験種別	試験教科	科目	配点	総点	
文学部	英文学科	6名	本学一般入試 (※該当する試験日に受験すること)	国語	国語総合、古典B(いずれも漢文を除く)、現代文B	高得点の2科目を合否判定に使用します。ただし、「外国語」を含むものとします。	150+100 (注1)	600
				外国語	コミュニケーション英語I、コミュニケーション英語II、コミュニケーション英語III、英語表現I、英語表現II			
				地理歴史	「日本史B」「世界史B」「地理B」			
				公民	「政治・経済」			
				数学	「数学【数学I、数学II、数学A、数学B(数列、ベクトル)】」			
				理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」			
	外国語学科 英語専攻	7名	大学入試センター試験	国語	「国語」	高得点の2科目を合否判定に使用します。ただし、「外国語」を含むものとします。 ※「地理歴史」と「公民」、また、「理科」の基礎を付していない科目において2科目以上受験の場合は、第1解答科目を使用します。(注4)	250+100 (注2)	
				外国語	「英語」(リスニングを含む。)			
				地理歴史	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」			
				公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」			
				数学	「数学I」「数学I・数学A」「数学II」「数学II・数学B」 「簿記・会計」「情報関係基礎」			
				理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」			
文学部	外国語学科 英語専攻	7名	本学一般入試 (※該当する試験日に受験すること)	国語	国語総合、古典B(いずれも漢文を除く)、現代文B	高得点の2科目を合否判定に使用します。ただし、「外国語」を含むものとします。	200+100 (注1)	650
				外国語	コミュニケーション英語I、コミュニケーション英語II、コミュニケーション英語III、英語表現I、英語表現II			
				地理歴史	「日本史B」「世界史B」「地理B」			
				公民	「政治・経済」			
				数学	「数学【数学I、数学II、数学A、数学B(数列、ベクトル)】」			
				理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」			
	外国語学科 フランス語専攻	3名	大学入試センター試験	国語	「国語」	高得点の2科目を合否判定に使用します。ただし、「国語」「外国語」のうち最低1科目を含むものとします。 ※「地理歴史」と「公民」、また、「理科」の基礎を付していない科目において2科目以上受験の場合は、第1解答科目を使用します。(注4)	100×2 (注2) (注3)	
				外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 ※「英語」はリスニングを含む。			
				地理歴史	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」			
				公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」			
				数学	「数学I」「数学I・数学A」「数学II」「数学II・数学B」 「簿記・会計」「情報関係基礎」			
				理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」			
商学部	商学科	7名	本学一般入試 (※該当する試験日に受験すること)	国語	国語総合、古典B(いずれも漢文を除く)、現代文B	高得点の2科目を合否判定に使用します。ただし、「外国語」を含むものとします。	100×2	400
				外国語	コミュニケーション英語I、コミュニケーション英語II、コミュニケーション英語III、英語表現I、英語表現II			
				地理歴史	「日本史B」「世界史B」「地理B」			
				公民	「政治・経済」			
				数学	「数学【数学I、数学II、数学A、数学B(数列、ベクトル)】」			
				理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」			
	経営学科	7名	大学入試センター試験	国語	「国語」	高得点の2科目を合否判定に使用します。ただし、「国語」「外国語」のうち最低1科目を含むものとします。 ※「地理歴史」と「公民」、また、「理科」の基礎を付していない科目において2科目以上受験の場合は、第1解答科目を使用します。(注4)	100×2 (注2) (注3)	
				外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 ※「英語」はリスニングを含む。			
				地理歴史	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」			
				公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」			
				数学	「数学I」「数学I・数学A」「数学II」「数学II・数学B」 「簿記・会計」「情報関係基礎」			
				理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」			

併一般・型センター入試

学部	学科(専攻)	募集人員	試験種別	試験教科	科目	配点	総点	
経済学部	経済学科	13名	本学一般入試 (※該当する試験日に受験すること)	国語	国語総合、古典B(いずれも漢文を除く)、現代文B	高得点の2科目を合否判定に使用します。ただし、「数学」を含むものとします。	100×2	400
				外国語	コミュニケーション英語I、コミュニケーション英語II、コミュニケーション英語III、英語表現I、英語表現II			
				数学	「数学【数学I、数学II、数学A、数学B(数列、ベクトル)】」			
			大学入試センター試験	国語	「国語」	高得点の組合せとなる2科目を合否判定に使用します。 ※「地理歴史」と「公民」、また、「理科」の基礎を付していない科目において2科目以上受験の場合は、第1解答科目を使用することとし、第2解答科目は第1解答科目が採用された場合のみ合否判定の対象とします。(注4)	100×2 (注2) (注3)	
				外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 ※「英語」はリスニングを含む。			
				地理歴史	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」			
	公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」						
	数学	「数学I」「数学I・数学A」「数学II」「数学II・数学B」 「簿記・会計」「情報関係基礎」						
	理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」						
	国際経済学科	6名	本学一般入試 (※該当する試験日に受験すること)	国語	国語総合、古典B(いずれも漢文を除く)、現代文B	高得点の2科目を合否判定に使用します。ただし、「外国語」を含むものとします。	100×2	
				外国語	コミュニケーション英語I、コミュニケーション英語II、コミュニケーション英語III、英語表現I、英語表現II			
				地理歴史	「日本史B」「世界史B」「地理B」			
公民				「政治・経済」				
数学				「数学【数学I、数学II、数学A、数学B(数列、ベクトル)】」				
大学入試センター試験			国語	「国語」	高得点の組合せとなる2科目を合否判定に使用します。 ※「地理歴史」と「公民」、また、「理科」の基礎を付していない科目において2科目以上受験の場合は、第1解答科目を使用することとし、第2解答科目は第1解答科目が採用された場合のみ合否判定の対象とします。(注4)	100×2 (注2) (注3)		
外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 ※「英語」はリスニングを含む。							
地理歴史	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」							
公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」							
数学	「数学I」「数学I・数学A」「数学II」「数学II・数学B」 「簿記・会計」「情報関係基礎」							
理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」							
法学部	法律学科	18名	本学一般入試 (※該当する試験日に受験すること)	国語	国語総合、古典B(いずれも漢文を除く)、現代文B	高得点の2科目を合否判定に使用します。ただし、「外国語」を含むものとします。	100×2	
				外国語	コミュニケーション英語I、コミュニケーション英語II、コミュニケーション英語III、英語表現I、英語表現II			
				地理歴史	「日本史B」「世界史B」「地理B」			5科目から1科目
				公民	「政治・経済」			
				数学	「数学【数学I、数学II、数学A、数学B(数列、ベクトル)】」			
	国際関係法学科	6名	大学入試センター試験	国語	「国語」	高得点の組合せとなる3科目を合否判定に使用します。ただし、「数学I」「数学I・数学A」「数学II」「数学II・数学B」のうち最低1科目を含むものとします。 ※「地理歴史」と「公民」、また、「理科」の基礎を付していない科目において2科目以上受験した場合は、第1解答科目を使用することとし、第2解答科目は第1解答科目が採用された場合のみ合否判定の対象とします。(注4)	100×3 (注2) (注3)	
				外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 ※「英語」はリスニングを含む。			
				地理歴史	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」			
				公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」			
				数学	「数学I」「数学I・数学A」「数学II」「数学II・数学B」 「簿記・会計」「情報関係基礎」			
				理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」			

併一般・センター入試

学部	学科(専攻)	募集人員	試験種別	試験教科	科目	配点	総点		
人間科学部	児童教育学科	5名	本学一般入試 (※該当する試験日に受験すること)	国語	国語総合、古典B(いずれも漢文を除く)、現代文B	高得点の2科目を合否判定に使用します。	100×2	400	
				外国語	コミュニケーション英語I、コミュニケーション英語II、コミュニケーション英語III、英語表現I、英語表現II				
				地理歴史	「日本史B」「世界史B」「地理B」				5科目から1科目
				公民	「政治・経済」				
				数学	「数学【数学I、数学II、数学A、数学B(数列、ベクトル)】」				
				理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」				
	大学入試センター試験	地理歴史	「世界史B」「日本史B」「地理B」	高得点の2科目を合否判定に使用します。ただし、「地理歴史、公民」「理科」それぞれの中から1科目を使用します。※「地理歴史」と「公民」、また、「理科」の基礎を付していない科目において2科目以上受験した場合は、第1解答科目を使用します。(注4)	100×2				
	公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」							
	数学	「数学I・数学A」「数学II・数学B」							
	理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」							
	社会福祉学科	3名	本学一般入試 (※該当する試験日に受験すること)	国語		国語総合、古典B(いずれも漢文を除く)、現代文B	高得点の2科目を合否判定に使用します。	100×2	400
				外国語		コミュニケーション英語I、コミュニケーション英語II、コミュニケーション英語III、英語表現I、英語表現II			
地理歴史				「日本史B」「世界史B」「地理B」	5科目から1科目				
公民				「政治・経済」					
数学				「数学【数学I、数学II、数学A、数学B(数列、ベクトル)】」					
理科				「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」					
大学入試センター試験	国語	「国語」	高得点の組合せとなる2科目を合否判定に使用します。※「地理歴史」と「公民」、また、「理科」の基礎を付していない科目において2科目以上受験した場合は、第1解答科目を使用することとし、第2解答科目は第1解答科目が採用された場合のみ合否判定の対象となります。(注4)	100×2 (注2) (注3)					
外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 ※「英語」はリスニングを含む。								
地理歴史	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」								
公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」								
数学	「数学I」「数学I・数学A」「数学II」「数学II・数学B」 「簿記・会計」「情報関係基礎」								
理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」								
心理学科	6名	本学一般入試 (※該当する試験日に受験すること)	国語	国語総合、古典B(いずれも漢文を除く)、現代文B	高得点の2科目を合否判定に使用します。	100×2	400		
			外国語	コミュニケーション英語I、コミュニケーション英語II、コミュニケーション英語III、英語表現I、英語表現II					
			地理歴史	「日本史B」「世界史B」「地理B」				5科目から1科目	
			公民	「政治・経済」					
			数学	「数学【数学I、数学II、数学A、数学B(数列、ベクトル)】」					
			理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」					
大学入試センター試験	外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 ※「英語」はリスニングを含む。	高得点の組合せとなる2科目を合否判定に使用します。※「理科」の基礎を付していない科目において2科目以上受験した場合は、第1解答科目を使用することとし、第2解答科目は第1解答科目が採用された場合のみ合否判定の対象となります。(注4)	100×2 (注2) (注3)					
数学	「数学I」「数学I・数学A」「数学II」「数学II・数学B」								
理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」								
国際文化学部	13名	本学一般入試 (※該当する試験日に受験すること)			国語	国語総合、古典B(いずれも漢文を除く)、現代文B	高得点の2科目を合否判定に使用します。	100×2	400
外国語			コミュニケーション英語I、コミュニケーション英語II、コミュニケーション英語III、英語表現I、英語表現II						
地理歴史			「日本史B」「世界史B」「地理B」		5科目から1科目				
公民			「政治・経済」						
数学			「数学【数学I、数学II、数学A、数学B(数列、ベクトル)】」						
理科			「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」						
大学入試センター試験	国語	「国語」	高得点の組合せとなる2科目を合否判定に使用します。※「地理歴史」と「公民」、また、「理科」の基礎を付していない科目において2科目以上受験した場合は、第1解答科目を使用することとし、第2解答科目は第1解答科目が採用された場合のみ合否判定の対象となります。(注4)	100×2 (注2) (注3)					
外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 ※「英語」はリスニングを含む。								
地理歴史	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」								
公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」								
数学	「数学I」「数学I・数学A」「数学II」「数学II・数学B」 「簿記・会計」「情報関係基礎」								
理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」								
合計	100名								

- (注1) 本学一般入試「外国語」の配点は文学部英文学科が150点、文学部外国語学科英語専攻が200点とします。
- (注2) 文学部、商学部、経済学部、法学部、人間科学部社会福祉学科、人間科学部心理学科、国際文化学部は大学入試センター試験の「国語」「外国語」(「英語」を除く)については、配点200点を100点に換算します。
- (注3) 文学部外国語学科フランス語専攻、商学部、経済学部、法学部、人間科学部社会福祉学科、人間科学部心理学科、国際文化学部は大学入試センター試験の「英語」については、筆記200点、リスニング50点、合計250点を100点に換算します。
- (注4) 「理科」の基礎を付した科目については、2科目を1科目として使用します。

併一般・型センター入試

〔5〕出願資格

次のいずれかに該当するもの

1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者および2018(平成30)年3月卒業見込みの者
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2018(平成30)年3月修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2018(平成30)年3月までにこれに該当する見込みの者
 - ア. 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および2018(平成30)年3月までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で、文部科学大臣の指定した者
 - イ. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および2018(平成30)年3月までに修了見込みの者
 - ウ. 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および2018(平成30)年3月までに修了見込みの者
 - エ. 文部科学大臣の指定した者
 - オ. 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む）および2018(平成30)年3月合格見込みの者
 - カ. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者および2018(平成30)年3月までにこれに該当する見込みの者で、18歳に達した者

〔6〕出願書類

1. 調査書

- (1) 出身学校において、文部科学省所定の様式により**2017(平成29)年10月1日以降**に作成・厳封したものを1通提出してください。**一般入試、大学入試センター試験利用入試(前期)との併願や複数学科(専攻)を併願する際に、1つの出願用封筒にまとめる場合、調査書は1通で構いません。**
- (2) 次に該当する人は、それぞれ必要な書類を1通提出してください。
 - ① 高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者および大学入学資格検定合格者は、**合格(見込)成績証明書**を提出してください。
※「合格証明書」は不可。
※免除科目、免除見込科目がある場合、その科目の「単位修得(見込)証明書」(履修した高等学校で発行する証明書で、科目ごとの修得単位数が記載されたもの)は提出不要です。
 - ② 文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者は、当該課程の成績証明書を提出してください。
 - ③ 外国と日本の高等学校に在学していた場合は、外国の高等学校における在学全期間の成績証明書と、日本の高等学校の調査書を提出してください。
 - ④ 外国における高等学校を卒業した者は、卒業証明書(または卒業証書の写し)と在学全期間の成績証明書を提出してください。

《注意》 イ. 外国の高等学校に在学した場合でも、日本の高等学校の全課程を修了した者は、日本の高等学校の調査書のみ提出してください。

ロ. 廃校、被災などによって調査書の交付が受けられない場合は、これに代わる証明書が必要です。

2. 顔写真(縦4cm×横3cm)裏面に氏名および生年月日を明記してください。

3. 平成30年度大学入試センター試験成績請求票(私立大学・公私立短期大学用)

〔7〕 入学検定料

1学科(専攻)につき 16,000円

ただし、一般・センター併用型入試内において併願する場合は、2出願目から10,000円

1. 併願した場合の入学検定料割引(2出願目から10,000円)の対象となるのは、同一の出願番号で出願した場合に限ります。
2. いったん納付した入学検定料の返還には、一切応じません。

〔8〕 出願上の注意

1. 一般入試(A日程、F日程)での該当する試験日の出願が前提であり、一般入試のA・F日程と同一試験日内での出願となります。異なる試験日での出願は認められません。ただし、同一試験日内での同じ学部学科または異なる学部学科の出願は可能です。
2. 学部・学科間において、最大10併願まで可能です。ただし、各試験日においては最大5併願までとします。
3. 出願に必要な書類をそろえ、市販の封筒(サイズは角2または長3)にインターネット出願登録完了画面に表示される宛名ラベルを貼付、もしくは宛名ラベルの内容を封筒に転記し郵送してください。
4. 郵便は必ず「速達簡易書留便」としてください。普通便で郵送した場合、万一事故がおこっても本学では責任を負いません。
5. 出願締切日 [1月12日(金)] 消印有効です。一般入試とは出願締切日が異なりますので注意してください。
ただし、出願締切日前日および出願締切日当日に限り、大学への直接持参を認めます(持参場所：大学2号館8階「西南学院大学入試事務室」)。
なお、出願期間後はどのような事情があっても受け付けません。
6. 入学検定料納入後は、試験日、志願学科(専攻)の変更および出願の取り消しはできませんので、十分考慮して出願してください。
7. 本学における個別の入学資格審査による出願の場合は、事前に必ず入試センター入試課にできるだけ早く問い合わせてください。

〔9〕 受験票交付・見本

受験票交付・見本に関する詳細は、共通事項のP60～61を参照してください。

〔10〕 合否判定について

1. 受験した一般入試の得点と大学入試センター試験の得点を合算して合否判定を行います。
2. 本入試において、A日程、F日程双方で同一学科に出願した場合の合否判定の取扱いについては、一般入試に準じます。

[11] 合格者発表

2018(平成30)年2月21日(水)

次の(1)~(3)の方法により発表します。なお、本学への直接の合否の問い合わせには一切応じません。

- (1) 合格通知書等の送付
合格者には、発表当日の朝に「合格通知書」および「入学手続書類」を速達郵便で発送します。送付先は出願時に登録した住所となりますので、変更が生じた場合は入試センター入試課に連絡してください。なお、不合格者には通知書は送付しません。
- (2) 学内掲示
発表当日の午前10時に、本学構内に合格者受験番号を掲示します。
- (3) Web 合否照会システム
利用可能期間：2018(平成30)年2月21日(水)11:00～2月27日(火)11:00
※時間帯によっては接続に時間がかかる場合がありますのでご承知おきください。

【Web合否照会システムでの合否の確認方法】

1. Web 合否照会システムへアクセス
本学ホームページよりアクセスできます。
西南学院大学ホームページ：<http://www.seinan-gu.ac.jp/>
2. アクセスキーの入力
本人確認のため、以下の情報を入力してください。
 - ① 受験番号(数字7桁)
※受験票に記載の受験番号を入力してください。座席番号ではありません。
 - ② 誕生日(4桁)
例：5月15日 ⇒ 0515
3. 合否結果の確認
出願した入試制度、学部・学科(専攻)の合否結果がすべて表示されます。

【追加合格について】

入学手続状況により、欠員が生じた学科(専攻)については、以下の要領で追加合格者を決定し、通知する可能性があります。なお、事前に追加合格予定者としての通知は行いません。

- 第1回目：3月1日(木)の第一次納入金(入学申込金)締切後、追加合格者を決定し、3月3日(土)以降に該当者に郵送にて通知します。
- 第2回目：3月22日(木)の第二次納入金締切後、該当者に電話にて通知します。
- ※追加合格発表については、Web 合否照会システムによる発表は行いません。

[12] 入学手続

合格者は、以下の要領で入学手続を行ってください。詳細については入学手続書類の記載に従ってください。

1. **2018(平成30)年3月1日(木)午後3時まで**に、**入学時納入金を指定銀行に一括納入**してください。ただし、事情により入学時納入金の分割を希望する場合は、次の方法によることができます。

第一次納入金

3月1日(木)午後3時までに、入学申込金(入学金相当額)を指定銀行に納入してください。

第二次納入金

3月22日(木)午後3時までに、入学時納入金から入学申込金を差し引いた残額を指定銀行に納入し、入学時納入金を完納してください。

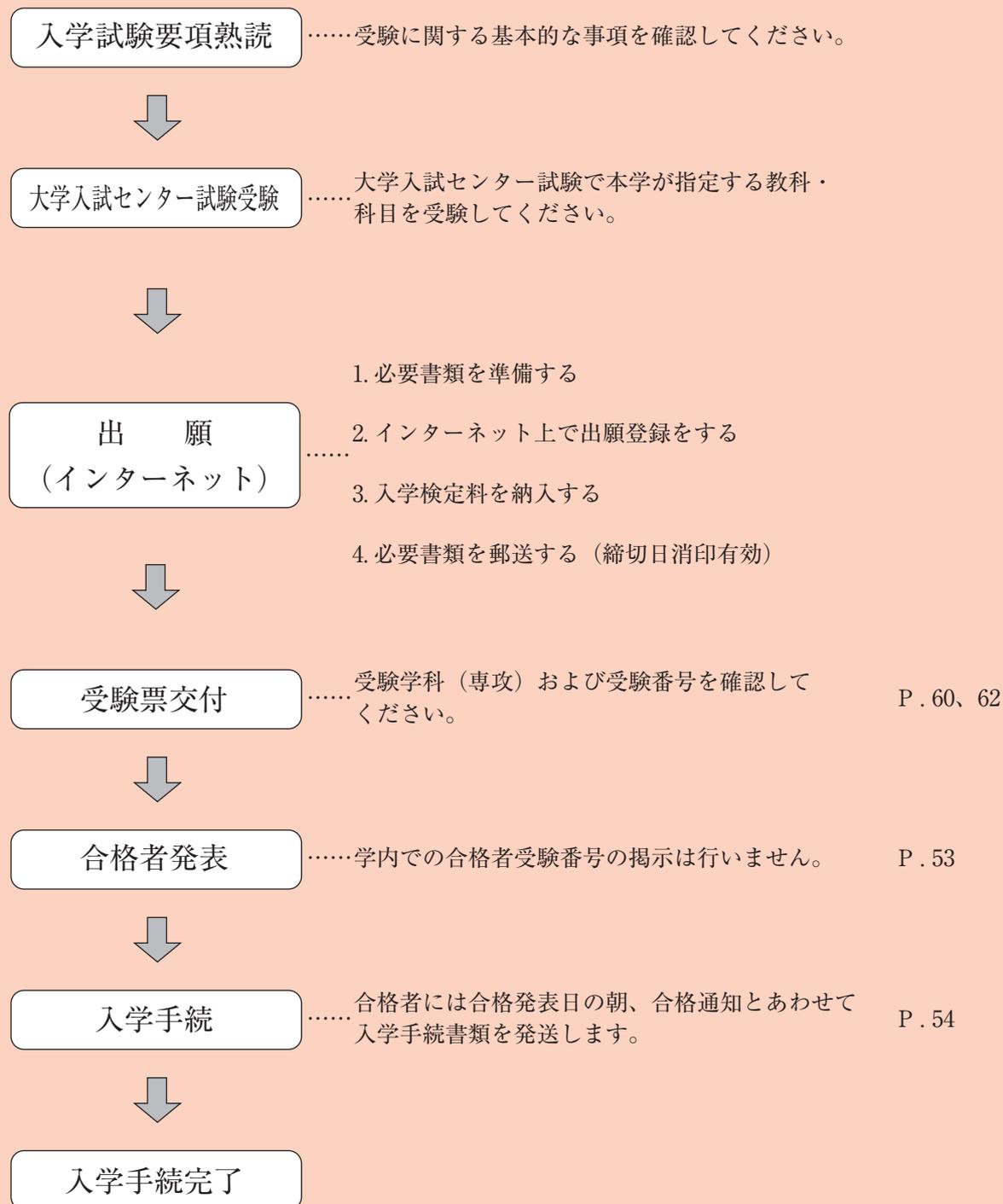
2. 合格通知送付の際に同封する**入学手続関係書類は3月22日(木)午後4時までに、本学学生課へ提出**してください。
 3. 一般・センター併用型入試の合格者は、入学手続関係書類として「平成30年度大学入試センター試験受験票」が必要です。入学手続完了まで保管しておいてください。
 4. **一括納入、第一次・第二次の納入期限は、いかなる事情があっても猶予いたしません。**
 5. 入学手続の途中および完了後における入学学部・学科（専攻）の変更は認めません。
 6. 入学手続完了者には、特に請求がある場合のみ「入学許可証明書」を発行します。希望者は、振込金受取書を持参のうえ入試センター入試課まで申し出てください。手数料は100円です。
 7. 入学時納入金を納入後、やむを得ない理由により入学を辞退する場合は、3月31日(土)までに所定の手続きにより申し出てください。入学申込金（入学金相当額）以外の納入金について返還いたします。詳細は、入学手続関係書類の「入学手続のしおり」でお知らせいたします。
- 《注意》**
- ① 第一次納入金（入学申込金）を納入せずに、第二次納入期間内 [3月2日(金)~3月22日(木)] に入学時納入金全額を一括納入することは認めません。
 - ② 入学金・授業料等の振込みに際して、本人確認書類をご用意ください。
(詳細は、共通事項のP63を参照してください。)

[13] 納 入 金

納入金に関する詳細は、共通事項のP63を参照してください。

V 大学入試センター試験利用入試【後期】

(参照ページ)



〔1〕 出 願 期 間

2018(平成30)年2月12日(月)から3月1日(木)まで[消印有効]

出願はインターネット出願に限ります。

他の入試とは出願締切日が異なりますので注意してください。

なお、出願締切日直前の取扱いについては〔7〕出願上の注意を参照してください。

出願期間 (インターネットの入力期間)	検定料納入期間	必要書類送付期間
2018年2月12日(月) 9時～ 3月 1日(木)23時00分	2018年2月12日(月) 9時～ 3月 1日(木)23時59分	2018年2月12日(月)～ 3月 1日(木)消印有効 ※出願締切日の前日から窓口持参可

〔2〕 募集学部・学科(専攻)、募集人員、試験教科・科目、配点、総点

学 部	学科(専攻)	募集人員	試験教科	科 目	配点	総点	
文学部	英文学科	6名	国 語	「国語」	19科目から1科目※	200	500
			外国語	「英語」(リスニングを含む。)		200	
			地理歴史	「世界史B」「日本史B」「地理B」		100	
			公 民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」			
			数 学	「数学I・数学A」「数学II・数学B」 「簿記・会計」「情報関係基礎」			
			理 科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」			
	外国語学科 英語専攻	5名	国 語	「国語」	19科目から1科目※	200	700
			外国語	「英語」(リスニングを含む。)		400	
			地理歴史	「世界史B」「日本史B」「地理B」		100	
			公 民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」			
			数 学	「数学I・数学A」「数学II・数学B」 「簿記・会計」「情報関係基礎」			
			理 科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」			
外国語学科 フランス語専攻	3名	国 語	「国語」	200	400		
外国語	「英語」「フランス語」から1科目(「英語」はリスニングを含む。)	200					
商学部	商 学 科	7名	国 語	「国語」	19科目から1科目※	200	500
			外国語	「英語」(リスニングを含む。)		200	
			地理歴史	「世界史B」「日本史B」「地理B」		100	
	公 民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」					
	数 学	「数学I・数学A」「数学II・数学B」 「簿記・会計」「情報関係基礎」					
	理 科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」					
経営学科	7名	国 語	「国語」	19科目から1科目※	200	500	
		外国語	「英語」(リスニングを含む。)		200		
		地理歴史	「世界史B」「日本史B」「地理B」				
経済学部	経済学科	8名	国 語	「国語」	19科目から1科目※	200	500
			外国語	「英語」(リスニングを含む。)		200	
			地理歴史	「世界史B」「日本史B」「地理B」		100	
	公 民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」					
	数 学	「数学I・数学A」「数学II・数学B」 「簿記・会計」「情報関係基礎」					
	理 科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」					
国際経済学科	5名	国 語	「国語」	19科目から1科目※	200	500	
		外国語	「英語」(リスニングを含む。)		200		
		地理歴史	「世界史B」「日本史B」「地理B」				
法学部	法律学科	6名	国 語	「国語」	19科目から1科目※	200	500
			外国語	「英語」(リスニングを含む。)		200	
			地理歴史	「世界史B」「日本史B」「地理B」		100	
	公 民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」					
	数 学	「数学I・数学A」「数学II・数学B」 「簿記・会計」「情報関係基礎」					
	理 科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」					
国際関係法学科	3名	国 語	「国語」	19科目から1科目※	200	500	
		外国語	「英語」(リスニングを含む。)		200		
		地理歴史	「世界史B」「日本史B」「地理B」				
人間科学部	児童教育学科	5名	国 語	「国語」	19科目から1科目※	200	500
			外国語	「英語」(リスニングを含む。)		200	
			地理歴史	「世界史B」「日本史B」「地理B」		100	
	公 民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」					
	数 学	「数学I・数学A」「数学II・数学B」 「簿記・会計」「情報関係基礎」					
	理 科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」					
社会福祉学科	5名	国 語	「国語」	19科目から1科目※	200	500	
		外国語	「英語」(リスニングを含む。)		200		
		地理歴史	「世界史B」「日本史B」「地理B」				
心理学科	3名	国 語	「国語」	19科目から1科目※	200	500	
		外国語	「英語」(リスニングを含む。)		200		
		地理歴史	「世界史B」「日本史B」「地理B」				

大学入試センター
試験利用入試(後期)

学部	学科(専攻)	募集人員	試験教科	科目	配点	総点
国際文化学部	国際文化学科	6名	国語	「国語」	200	500
			外国語	「英語」(リスニングを含む。)	200	
			地理歴史	「世界史B」「日本史B」「地理B」	7科目から1科目※	
			公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」		
合計	69名					

- (注1) いずれの学部・学科(専攻)においても、個別試験は実施しません。
- (注2) 「英語」については、筆記200点、リスニング50点、合計250点を200点(文学部外国語学科英語専攻は400点)に換算します。
- (注3) ※の教科において2科目以上受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用します。ただし、「地理歴史」と「公民」、また、「理科」の基礎を付していない科目において2科目以上受験した場合は、それぞれ第1解答科目を使用します。受験する学部・学科(専攻)が指定する教科・科目を第1解答科目で受験せずに、第2解答科目でのみ受験した場合は、当該教科・科目を0点として取扱います。
- (注4) 「理科」の基礎を付した科目については、2科目を1科目として使用します。
- (注5) 以下の資格・検定試験において、基準となるスコアを取得した者については、「英語」の得点を満点として扱います。(別途、資格を証明する書類の提出が必要です。)
- (注6) 以下の資格・検定試験の基準となるスコアを取得し、本入試において活用する場合は、大学入試センター試験における「英語(リスニングテストを含む)」の受験は必須ではありません。

試験名称	基準スコア	提出書類
ケンブリッジ英検	FCE以上	①Confirmation of Entry(受験票)のコピー ②合格証明書のコピー
実用英語技能検定	準1級以上	合格証明書の原本
GTEC CBT	1160点以上	Score Reportの原本
IELTS	5.5以上	Test Report Formのコピー
TEAP(R/L+W+S)	334点以上	OFFICIAL SCORE REPORT(成績表)の原本
TOEFL iBT®	72点以上(ITPテストは除く)	Examinee Score ReportまたはTest Taker Score Reportのコピーを出願書類と一緒に本学に送付し、あわせて必ずOfficial Score Reportをテスト機関から直接本学に送付されるように手配してください。本学のInstitution(DI) CodeはB668です。
TOEFL Junior® Comprehensive	341点以上	Official Score Reportの原本
TOEIC®Listening & Reading Test(以下TOEIC®L&R) TOEIC®Speaking & Writing Tests(以下TOEIC®S&W)	TOEIC®L&R785点以上かつ TOEIC®S&W310点以上(IPテストは除く)	各 Official Score Certificateの原本

※2016(平成28)年2月1日以降に取得したものに限りです。

※TOEIC®テストは、TOEIC®Listening & Reading Testに名称変更いたしました。Official Score Certificateは名称変更前のものもご提出いただけます。

[3] 選考方法

1. いずれの学部・学科(専攻)においても「平成30年度大学入試センター試験」における各教科・科目の総合点で判定し、**本学の個別試験は実施しません。**
2. 大学入試センター試験において**本学が指定する教科・科目を受験していなかった場合は、科目不足となり、合否判定の対象外となります。**
3. 平成29年度以前の大学入試センター試験の成績は利用できません。

[4] 出願資格

次のいずれかに該当する者で、「平成30年度大学入試センター試験」において本学が指定する教科・科目を受験する者

1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者および2018(平成30)年3月卒業見込みの者
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2018(平成30)年3月修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2018(平成30)年3月までにこれに該当する見込みの者
 - ア. 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および2018(平成30)年3月までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で、文部科学大臣の指定した者
 - イ. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および2018(平成30)年3月までに修了見込みの者
 - ウ. 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および2018(平成30)年3月までに修了見込みの者
 - エ. 文部科学大臣の指定した者
 - オ. 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)による大学入学資格検定に合格した者を含む)および2018(平成30)年3月合格見込みの者
 - カ. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者および2018(平成30)年3月までにこれに該当する見込みの者で、18歳に達した者

〔5〕 出 願 書 類

1. 調 査 書

- (1) 出身学校において、文部科学省所定の様式により**2017(平成29)年10月1日以降**に作成・
厳封したものを1通提出してください。
 - (2) 次に該当する人は、それぞれ必要な書類を1通提出してください。
 - ① 高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者および大学入学資格検定合格者は、**合格(見込)成績証明書**を提出してください。
※「合格証明書」は不可。
※免除科目、免除見込科目がある場合、その科目の「単位修得(見込)証明書」(履修した高等学校で発行する証明書で、科目ごとの修得単位数が記載されたもの)は提出不要です。
 - ② 文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者は、当該課程の成績証明書を提出してください。
 - ③ 外国と日本の高等学校に在学していた場合は、外国の高等学校における在学全期間の成績証明書と、日本の高等学校の調査書を提出してください。
 - ④ 外国における高等学校を卒業した者は、卒業証明書(または卒業証書の写し)と在学全期間の成績証明書を提出してください。
- 《注意》 イ. 外国の高等学校に在学した場合でも、日本の高等学校の全課程を修了した者は、日本の高等学校の調査書のみ提出してください。
ロ. 廃校、被災などによって調査書の交付が受けられない場合は、これに代わる証明書が必要です。
2. 顔 写 真(縦4cm×横3cm)裏面に氏名および生年月日を明記してください。
 3. 平成30年度大学入試センター試験成績請求票(私立大学・公私立短期大学用)

〔6〕 入 学 検 定 料

1学科(専攻)につき 16,000円

ただし、大学入試センター試験利用入試(後期)内において併願する場合は、2出願目から10,000円

1. **併願した場合の入学検定料割引(2出願目から10,000円)の対象となるのは、同一の出願番号で出願した場合に限ります。**
2. いったん納付した入学検定料の返還には、一切応じません。

〔7〕 出 願 上 の 注 意

1. 学部・学科(専攻)間において、**最大10併願まで可能です。**
2. 出願に必要な書類をそろえ、市販の封筒(サイズは角2または長3)にインターネット出願登録完了画面に表示される宛名ラベルを貼付、もしくは宛名ラベルの内容を封筒に転記し郵送してください。
3. 郵便は必ず「**速達簡易書留便**」としてください。普通便で郵送した場合、万一事故がおこっても本学では責任を負いません。
4. **出願締切日 [3月1日(木)] 消印有効**です。**他の入試とは出願締切日が異なりますので注意してください。**
ただし、出願締切日前日および出願締切日当日に限り、大学への直接持参を認めます(持参場所：大学2号館2階「西南学院大学入試課」)。
なお、出願期間後はどのような事情があっても受け付けません。
5. **入学検定料納入後は、志願学科(専攻)の変更および出願の取り消しはできませんので、十分考慮して出願してください。**
6. 本学における個別の入学資格審査による出願の場合は、事前に必ず入試センター入試課にできるだけ早く問い合わせてください。

〔8〕 受験票交付・見本

受験票交付・見本に関する詳細は、共通事項のP60、P62を参照してください。

〔9〕 合格者発表

2018(平成30)年3月12日(月)

次の(1)と(2)の方法により発表します。なお、本学への直接の合否の問い合わせには一切応じません。
※後期については、学内での合格者受験番号の掲示は行いません。

(1) 合格通知書等の送付

合格者には、発表当日の朝に「合格通知書」および「入学書類」を速達郵便で発送します。送付先は出願時に登録した住所となりますので、変更が生じた場合は入試センター入試課に連絡してください。なお、不合格者には通知書は送付しません。

(2) Web合否照会システム

利用可能期間：2018(平成30)年3月12日(月)11:00～3月19日(月)11:00

※時間帯によっては接続に時間がかかる場合がありますのでご承知おきください。

【Web合否照会システムでの合否の確認方法】

1. Web合否照会システムへアクセス

本学ホームページよりアクセスできます。

西南学院大学ホームページ：<http://www.seinan-gu.ac.jp/>

2. アクセスキーの入力

本人確認のため、以下の情報を入力してください。

① 受験番号(数字7桁)

※受験票に記載の受験番号を入力してください。座席番号ではありません。

② 誕生日(4桁)

例：5月15日 ⇒ 0515

3. 合否結果の確認

出願した学部・学科(専攻)の合否結果がすべて表示されます。

【追加合格について】

入学状況により、欠員が生じた学科(専攻)については、以下の要領で追加合格者を決定し、通知する可能性があります。なお、事前に追加合格予定者としての通知は行いません。

・3月22日(木)の入学時納入金締切後、該当者に電話にて通知します。

※追加合格発表については、Web合否照会システムによる発表は行いません。

[10] 入学手続

合格者は、以下の要領で入学手続を行ってください。詳細については入学手続書類の記載に従ってください。

1. **2018(平成30)年3月22日(木)午後3時まで**に、入学時納入金を指定銀行に**一括納入**してください。
2. 合格通知送付の際に同封する**入学手続関係書類は3月22日(木)午後4時まで**に、**本学学生課へ提出**してください。
3. 大学入試センター試験利用入試(後期)の合格者は、入学手続関係書類として「平成30年度大学入試センター試験受験票」が必要です。入学手続完了まで保管しておいてください。
4. **一括納入の納入期限は、いかなる事情があっても猶予いたしません。**
5. **入学手続完了後における入学学部・学科(専攻)の変更は認めません。**
6. 入学手続完了者には、特に請求がある場合にのみ「入学許可証明書」を発行します。希望者は、振込金受取書を持参のうえ入試センター入試課まで申し出てください。手数料は100円です。
7. 入学時納入金を納入後、やむを得ない理由により入学を辞退する場合は、3月31日(土)までに所定の手続きにより申し出てください。入学申込金(入学金相当額)以外の納入金について返還いたします。詳細は、入学手続関係書類の「入学手続のしおり」でお知らせいたします。

《注意》 入学金・授業料等の振込みに際して、本人確認書類をご用意ください。

(詳細は、共通事項のP63を参照してください。)

[11] 納入金

納入金に関する詳細は、共通事項のP63を参照してください。

VI 共通事項

- 一般入試
- 大学入試センター試験利用入試（前期）
- 一般・センター併用型入試
- 大学入試センター試験利用入試（後期）

(参照ページ)

- | | |
|----------------------------|---------|
| [1] インターネット出願手順について | P.56～59 |
| [2] 受験票交付 | P.60～62 |
| 受験生氏名等の漢字表記について | P.60 |
| 受験票見本 | P.61～62 |
| [3] 納入金 | P.63 |
| 受験生・保護者の皆様へ | P.63 |
| [4] 入学時給付奨学金制度について | P.64 |
| [5] 災害等により被災された志願者への支援について | P.64 |
| [6] 予備校コード表 | P.65 |
| [7] 個人情報の取扱いについて | P.66 |

〔1〕 インターネット出願手順について

一般入試、大学入試センター試験利用入試(前期・後期)、一般・センター併用型入試では、インターネットによる出願のみとなります。出願の流れや出願手順については以下の内容を確認してください。

出願の流れ

1 インターネット出願の入力フォームに必要な情報を入力する

2 入学検定料を支払う

3 出願書類を封入した封筒の表面に、印刷した宛名ラベルを貼付する

4 出願書類を郵送(簡易書留速達)する

※1～4まで行って出願完了となります。インターネットの入力および入学検定料の支払いまででは出願完了となりませんので、必ず各入試種別の出願締切までに書類を郵送してください。

出願手順

以下の手順に従って出願してください。

1 インターネット出願トップページへアクセス

インターネット出願のページには、西南学院大学のホームページなどからアクセスできます。

●西南学院大学トップページ

2 出願を行う試験日程・入試種別を選択

出願する試験日程・入試種別を選択してください。

入試種別	試験日	出願期間	受付状況	
一般入試 (A日程・F日程)	2月5日(月)	[インターネットの入力期間] 1月5日(金) 9時～ 1月16日(火) 23時00分 [検定料納入期間] 1月5日(金) 9時～ 1月16日(火) 23時59分	受付中	
	2月6日(火)			
	2月7日(水)			
	2月8日(木)			
2月9日(金)				
一般・センター併用型 入試	一般入試 (A日程・F日程)に準ずる	[インターネットの入力期間] 1月12日(金) 23時00分 [検定料納入期間] 1月5日(金) 9時～ 1月12日(金) 23時59分	受付中	
大学入試センター試験 利用入試(前期)	個別日程は実施しません	[インターネットの入力期間] 1月5日(金) 9時～ 1月12日(金) 23時00分 [検定料納入期間] 1月5日(金) 9時～	受付中	

3 志望情報を入力

志望する入試種別、学部・学科等を選択してください。

※入学検定料も確認できます。

4 個人情報を入力

画面の案内に沿って、入力してください。

**氏名や住所などの入力は慎重に行ってください。
謝って入力すると受験票が届かない場合があります。**

5 出願内容の確認

入力した志望情報と個人情報について、確認してください。

6 出願書類の確認

出願内容によって出願書類が異なりますので、十分に確認してください。

7 決済情報を入力

支払方法として、コンビニエンスストア・ATM・ネットバンキングのいずれかを選択します。

- コンビニエンスストア
- 金融機関ATM【Pay-easy】
- ネットバンキング

詳しい支払い方法については、インターネット出願サイトの「入学検定料の支払方法について」ページを確認してください。

8 出願登録の完了

出願番号(受験番号ではありません)が発行されるので、**下記にメモをするか、画面を印刷してください。**

※出願番号は、後で出願情報を確認する場合と、出願書類を郵送する際に必要です。

出願番号

(数字6桁の番号)

コンビニ・ATM【Pay-easy】・ネットバンキングを選択した場合は、入学検定料の支払いに必要な各種番号もメモしてください。また、出願の内容に応じた必要書類が表示されるので、確認し、準備してください。

9 入学検定料の支払い

入学検定料の支払いは、以下のいずれかの方法で行ってください。詳しい支払い方法については、インターネット出願サイトの「入学検定料の支払方法について」ページを確認してください。

■入学検定料支払い手数料について

入学検定料の他に、1回の出願ごとに手数料が必要となります。

コンビニ・金融機関ATM・ネットバンキング

入学検定料:5万円未満	432円
入学検定料:5万円以上	648円

一旦支払われた入学検定料は返金いたしません。ご注意ください。

①コンビニエンスストア

※現金での支払いとなります。※1回の出願につき30万円以上の支払いはできません。

<支払手順> ※支払手順については、各コンビニエンスストアで変更になる場合があります。

セブンイレブン	ローソン ミニストップ (Loppi)	ファミリーマート (Famiポート)	サークルK・サンクス (Kステーション)	セイコーマート (クラブステーション)	デイリーヤマザキ スリーエフ
 レジにて「インターネット支払い」と店員に伝え、プリントアウトした【払込票】を渡すか、【払込票番号】を伝え支払う。 ※プリントしなかった場合は、番号を伝えるのみで構いません。 マルチコピー機は使用しません	 各種サービスメニュー	 代金支払い	 各種支払い 11ケタ等の番号をお持ちの方 オンライン決済番号	 インターネット受付・各種代金お支払い 「オンライン決済番号」を入力し内容を確認する	 レジで店員に「オンライン決済」と伝える 「オンライン決済番号」を入力し内容を確認する
	マルチペイメントサービス	各種番号をお持ちの方はこちら	「オンライン決済番号」を入力	「オンライン決済番号」を入力し内容を確認する	「オンライン決済番号」を入力し内容を確認する
	「お客様番号」「確認番号」を入力	「お客様番号」「確認番号」を入力	「オンライン決済番号」を入力	「オンライン決済番号」を入力し内容を確認する	「オンライン決済番号」を入力し内容を確認する
	出願情報が正しければ「確認」「印刷」ボタンを押す端末より申込券が出るので30分以内にレジにて入学検定料を現金にて支払う				

② 金融機関ATM【Pay-easy】

以下の支払い可能金融機関でPay-easyマークの付いているATMで支払うことができます。
1回の出願につき、現金では10万円未満、キャッシュカードでは100万円未満の支払いが可能です。

(利用可能な金融機関の一例)

- ・福岡銀行
- ・ゆうちょ銀行
- ・三菱東京UFJ銀行
- ・熊本銀行
- ・みずほ銀行
- ・三井住友銀行
- ・親和銀行
- ・りそな銀行/埼玉りそな銀行 など



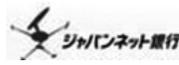
■支払い可能金融機関は下記ページの「ATM利用可能一覧」を確認してください。
http://www.well-net.jp/multi/financial_list/index.html

<支払手順>

「税金・料金払込み」又は「Pay-easy」を選択
「収納機関番号」「お客様番号」「確認番号」を入力
現金またはキャッシュカードを選択して、入学検定料を支払う

③ ネットバンキング

都市銀行、地方銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫、農協、漁協などのネットバンキングを利用することができます。
事前に金融機関にて申し込みが必要です。また、楽天銀行、ジャパンネット銀行、じぶん銀行、住信SBIネット銀行でも支払うことができます。事前に金融機関にて口座の開設が必要です。



<支払手順>

出願登録完了画面を開く
[ネットバンキングでの支払いに進む]ボタンを押す
ネットバンキングの契約をしている金融機関を選択し、ログインする

10 出願書類の郵送

登録完了画面から宛名ラベルを印刷し、市販の封筒(サイズは角2もしくは長3)に貼付してください。
その封筒に、出願書類を封入し、以下の送付先に簡易書留速達で郵送してください。
出願書類は出願内容によって異なりますので、インターネット出願の画面の指示に従ってください。

(送付先)

〒814-8511
福岡市早良区西新6丁目2番92号
西南学院大学入試事務室

※「プリンタを所有していない」「スマートフォン・タブレットから操作する」「印刷できない」のいずれかに該当する方は封筒に宛名ラベルの内容を転記してください。



以上で、出願手続きは完了です

Q1 スマートフォンからインターネット出願を行うことはできますか？

A インターネット環境があれば、スマートフォンやタブレット端末からも出願登録を行うことは可能です。ただし、宛名ラベルや出願内容確認画面の印刷が行えない場合がありますので、必要事項(出願番号等)はスクリーンショットやメモをとるなど、忘れないように管理してください。

Q2 プリンタは必要ですか？

A プリンタがなくても出願は可能です。ただし、プリンタがあると、宛名ラベルの印刷や出願内容等を確認する際に便利になります。プリンタがない場合、出願書類の送付時には封筒に**出願番号、氏名、連絡先住所**を必ず明記するようにしてください。また、必要事項は必ずメモをとるようにしてください。

Q3 登録するメールアドレスは、携帯電話やフリーメール(Yahoo!、Googleなど)のアドレスでも可能ですか？

A どのメールアドレスでも登録可能です。メールアドレスを登録された方には出願登録完了通知や入金完了通知をお送りしますので、ドメイン(@seinan-gu.ac.jp)を受信設定して、必ずメールが受け取れるようにしてください。

Q4 最初に登録した内容の誤りに気づき、別の内容で2回目の出願登録を行いました。問題ないでしょうか？

A 最初に登録した内容において、入学検定料を納入していなければ、出願完了とはなりませんので、複数回登録しても問題ありません。複数回登録してしまった場合は、出願番号や入学検定料の納入に必要な番号を間違えないように手続きを進めてください。

Q5 出願登録後、出願内容の変更(内容の修正、追加出願等)はできますか？

A 出願期間内で、入学検定料の納入前であれば変更は可能です。インターネット出願トップページの「出願内容を確認・変更する(ログイン)」からログインし、「出願内容を変更する」を選択してください。その際、[出願番号]および[入学検定料の納入に必要な番号]が新たに発行されますので、新たに発行された番号で検定料の納入および出願書類の送付を行ってください。また、**出願期間内であっても検定料納入後は、出願内容の変更はできませんのでご注意ください。**検定料納入後に追加出願をしたい場合は、再度はじめから出願登録し、該当分の検定料の納入と出願書類の送付が必要となります。(※一般・センター併用型入試を追加出願する場合は、入試課までご連絡ください。)

出願内容の確認・変更

[インターネット出願]トップページ



[出願番号、氏名、生年月日、電話番号]を入力してください

出願登録完了画面が表示され、出願内容(登録完了)・入金状況を確認できます。また、入学検定料の納入前であれば、出願内容を変更できます。



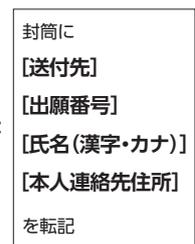
Q6 出願書類はどのように提出すればよいですか？

A 市販の封筒(サイズは角2もしくは長3)にインターネット出願登録完了画面に表示される宛名ラベルを貼付、もしくは宛名ラベルの内容を転記し、出願書類を封入した上で、速達簡易書留郵便で送付してください。



宛名ラベルを貼り付け

もしくは



宛名ラベルの内容を転記

[2] 受験票交付

1. 受験票は、出願時に個人情報として登録した住所(インターネット出願の場合は個人情報として登録した住所)に郵送します。

2. 受験票の送付について

願書受付処理の関係上、受験票は出願締切日以後、出願者全員分を一括して作成し、速達にて送付します。

一般入試、大学入試センター試験利用入試(前期)、一般・センター併用型入試は1月22日(月)発送予定です。

1月25日(木)正午現在で、未着の場合は入試事務室【☎(092)823-3366】へ連絡してください。

大学入試センター試験利用入試(後期)は3月6日(火)発送予定です。

3月9日(金)正午現在で、受験票が未着の場合は入試事務室【☎(092)823-3366】へ連絡してください。

3. 受験票には以下の事項が記載されています。

上段：一般入試受験票：試験日、座席番号、選択科目、試験地、注意事項

下段：入試種別毎受験番号

- 一般入試 _____
 - センター試験利用入試(前期、後期) _____
 - 一般・センター併用型入試 _____
- 受験学部・学科(専攻)、受験番号

4. 受験票を受け取ったら、受験票の記載事項が、出願時に登録した事項と同じであることを確認してください。異なっている場合には、ただちに本学入試事務室【☎(092)823-3366】にご連絡ください。

5. 座席番号は一般入試受験時に必要となり、試験日・試験地別に設定しています。

設定の基準は以下の通りです。

■一桁目：試験日

- | | | |
|-------------|------|-------|
| 1：1日目(2月5日) | A：本学 | F：大分 |
| 2：2日目(2月6日) | B：広島 | G：宮崎 |
| 3：3日目(2月7日) | C：山口 | H：鹿児島 |
| 4：4日目(2月8日) | D：長崎 | J：東京 |
| 5：5日目(2月9日) | E：熊本 | K：沖縄 |

■二桁目：試験地

〔座席番号例〕

1 A 0 0 0 1

本学 各受験地毎に0001番から採番

1日目(2月5日)

6. 受験番号は学科(専攻)別に設定しています。設定の基準は次のとおりです。

■二桁目～三桁目：学科(専攻)

- | | |
|----------------|----------------|
| 神学科……………11 | 国際経済学科……………42 |
| 英文学科……………21 | 法律学科……………51 |
| 英語専攻……………22 | 国際関係法学科……………52 |
| フランス語専攻……………23 | 児童教育学科……………61 |
| 商学科……………31 | 社会福祉学科……………62 |
| 経営学科……………32 | 心理学科……………63 |
| 経済学科……………41 | 国際文化学科……………71 |

〔受験番号例〕

1 5 1 0 1 2 3

法律学科

〔一般入試〕

A日程:0001番から採番

F日程:3001番から採番

〔大学入試センター試験利用入試〕

前期:7001番から採番

後期:8001番から採番

〔一般・センター併用型入試〕

A日程:5001番から採番

F日程:6001番から採番

一般入試、大学入試センター試験利用入試(前期・後期)
一般・センター併用型入試

7. 一般入試を受験する方は、試験当日受験票を必ず持参してください。

8. 受験票は入学手続完了まで保管しておいてください。

9. 大学入試センター試験利用入試(前期・後期)、一般・センター併用型入試の合格者は、入学手続関係書類として「平成30年度大学入試センター試験受験票」が必要です。入学手続完了まで保管しておいてください。

受験生氏名等の漢字表記について

本学では、入学試験に際して大学側で発行する受験票および合格通知書類等の受験生氏名等漢字表記についてはJIS漢字符号表第一、第二水準以外の漢字を代替文字に置き換えております。その結果、本来の漢字氏名等とは異なる表記がなされる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

なお、これらの表記内容については、入学決定後に再度確認を行います。

■本来の漢字氏名と異なる表記の事例

- | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 角→角 | 鶴→鶴 | 吉→吉 | 原→原 | 高→高 | 廣→廣 |
| 崎→崎 | 寄→寄 | 真→真 | 秦→秦 | 桑→桑 | 土→土 |
| 徳→徳 | 濱→濱 | 邊→邊 | 邊→邊 | 柳→柳 | 隆→隆 |

一般入試
 大学入試センター試験利用入試(前期)
 一般・センター併用型入試

〈受 験 票 見 本〉

2018(平成30)年度
 西南学院大学 一般入試 受験票

注 意 事 項

〒814-8511

福岡県 福岡市 早良区 西新
 6-2-92-101

西南 太郎 様

11001

- (1)この受験票は必ず試験場に持参してください。
- (2)9時40分(午後は14時)までに各自の席に着いてください。
(座席番号を参照)
- (3)受験票は座席番号のそばに置いてください。
- (4)答案の作成はHBの黒鉛筆(シャープペンシル可)になります。
- (5)試験室には壁掛時計は設置していませんので、腕時計を持参してください。
- (6)試験時間内の退場はできません。
- (7)休憩時間に校舎外に出るときは、必ずこの受験票を携帯してください。
- (8)不測の事情により一般入試の実施方法に変更が生じる場合は大学ホームページにてお知らせいたします。

※受験の際には、試験日・試験地を間違えないようにしてください。

試験日	※座席番号	選択科目	試験地
2月5日(月)	1A0001	日本史	本 学
2月6日(火)	2A0001	日本史	本 学
2月7日(水)	3A0001	日本史	本 学
2月8日(木)	4A0001	日本史	本 学
2月9日(金)	5A0001	日本史	本 学

※座席番号は受験の際に使用します。

一般入試 試験時間割(全日程共通)

I	国 語	10:00~11:10	70分間
II	選択科目	11:50~13:00	70分間
	昼 食	13:00~14:00	14時までに着席
III	外国語	14:20~15:30	70分間

西南学院大学 入試センター入試課

〒814-8511 福岡市早良区西新6-2-92
 電話(092)823-3366

2018(平成30)年度 西南学院大学 一般選抜(前期) 受験番号

一般入試

受験日	受験学部・学科(専攻)	受験番号
2月5日(月)	人間科学部 児童教育学科	1610001
	人間科学部 社会福祉学科	1620001
	人間科学部 心理学科	1630001
	*****	*****
2月6日(火)	文学部 英文学科	1210001
	文学部 外国語学科英語専攻	1220001
	文学部 外国語学科フランス語専攻	1230001
	法学部 法律学科	1510001
	法学部 国際関係法学科	1520001
2月7日(水)	神学部 神学科	1110001
	経済学部 経済学科	1410001
	経済学部 国際経済学科	1420001
	*****	*****
2月8日(木)	商学部 商学科	1310001
	商学部 経営学科	1320001
	国際文化学部 国際文化学科	1710001
	*****	*****
2月9日(金)	国際文化学部 国際文化学科	1713001
	*****	*****
	*****	*****
	*****	*****

大学入試センター試験利用入試(前期)

受験学部・学科(専攻)	受験番号	受験学部・学科(専攻)	受験番号
文 学 部	1217001	経 済 学 部	1417001
英 文 学 科		経 済 学 科	
文 学 部	1227001	法 学 部	1517001
外国語学科英語専攻		法 律 学 科	
文 学 部	1237001	法 学 部	1527001
外国語学科フランス語専攻		国 際 関 係 法 学 科	
商 学 部	1317001	人 間 科 学 部	1617001
商 学 科		児 童 教 育 学 科	
商 学 部	1327001	国 際 文 化 学 部	1717001
経 営 学 科		国 際 文 化 学 科	

一般・センター併用型入試

受験学部・学科(専攻)	受験番号	受験学部・学科(専攻)	受験番号
文 学 部	1215001	*****	*****
英 文 学 科		*****	*****
(A 日 程)			
文 学 部	1225001	*****	*****
外国語学科英語専攻		*****	*****
(A 日 程)			
文 学 部	1235001	*****	*****
外国語学科フランス語専攻		*****	*****
(A 日 程)			
文 学 部	1226001	*****	*****
外国語学科英語専攻		*****	*****
(F 日 程)			
国 際 文 化 学 部	1715001	*****	*****
国 際 文 化 学 科		*****	*****
(A 日 程)			

共
通
事
項

〈受 験 票 見 本〉

注 意 事 項

〒814-8511

福岡県 福岡市 早良区 西新
6-2-92-101

西南 太郎 様

60001

- (1) 全ての記載内容に間違いがないか、入学試験要項の60・62ページで必ず確認してください。
- (2) 合否結果は、Web合否照会システムにて確認ができます。詳細は入学試験要項をご参照ください。
※合格者受験番号の本学構内の掲示は行いません。
- (3) 万一、受験票を紛失した場合は、入試センター入試課まで連絡してください。
- (4) 大学入試センター試験利用入試の合格者は、入学手続関係書類として「平成30年度大学入試センター試験受験票」が必要となるため、入学手続完了まで保管してください。

西南学院大学

入試センター入試課

〒814-8511

福岡市早良区西新6-2-92

電話 (092) 823-3366

2018(平成30)年度

西南学院大学 大学入試センター試験利用入試(後期) 受験票

受験学部・学科(専攻)	受 験 番 号
文学部英文学科	1 2 1 8 0 0 1
文学部外国語学科フランス語専攻	1 2 3 8 0 0 1
商学部経営学科	1 3 2 8 0 0 1
経済学部国際経済学科	1 4 2 8 0 0 1
法学部国際関係法学科	1 5 2 8 0 0 1
人間科学部児童教育学科	1 6 1 8 0 0 1
国際文化学部国際文化学科	1 7 1 8 0 0 1
*****	*****
*****	*****
*****	*****

〔3〕 納 入 金

全学部・学科（専攻）

科 目		入学時納入金	後期納入金 (納入期限10月末)	初年度納入金総額
授業料等学費	入 学 金	200,000 円	— 円	200,000 円
	授 業 料	375,000	375,000	750,000
	施 設 費	85,000	85,000	170,000
	教 育 充 実 費	20,000	20,000	40,000
	計	680,000	480,000	1,160,000
委託徴収金	自 治 会 費	5,500	—	5,500
	卒業アルバム費	4,000	—	4,000
	卒業記念品費	250	—	250
	学生教育研究 災害傷害保険料	2,300	—	2,300
	計	12,050	—	12,050
合 計		692,050 円	480,000 円	1,172,050 円

- 注) ①上記の納入金は2018年度(予定)のものであります。
 ②上記の他に実習等を行う授業科目については、入学後、実験実習費を徴収します。
 ③4年次に同窓会費として、20,000円を徴収します。

受験生・
保護者
の皆様へ

入学金・授業料などの振込みにあたって

入学金・授業料などを金融機関で現金にて振込をする場合には、
本人確認書類をご用意ください。(運転免許証、健康保険証、パスポートなど)

平成19年1月4日から、本人確認手続に関する法令の改正により、金融機関において10万円を超える現金での振込みを行う場合には、本人確認書類の提示が必要となりました。

したがって、入学金・授業料等の振込の際は大学所定の振込用紙とともに、本人確認書類が必要となります。振込人、手続方法によって提示を求められる本人確認書類は異なってきます。詳細については、下記のとおりとなっておりますので、ご留意のほどよろしくお願いいたします。

記

振込人・手続方法	必要な本人確認書類
受験生が <u>現金</u> で入学金・授業料などを振込む場合	受験生の本人確認書類
保護者の方などが <u>現金</u> で入学金・授業料などを振込む場合	保護者の方などの本人確認書類。また、振込みの目的を尋ねられることがあります。

◎本人確認書類

運転免許証、各種健康保険証、各種年金手帳、旅券(パスポート)、各種福祉手帳、マイナンバーカード(写真付き)、外国人登録証明書、身体障害者手帳など。

その他、不明な点がございましたら最寄の金融機関にお尋ねください。

〔4〕 入学時給付奨学金制度について

〔1〕西南学院大学入学時給付奨学金制度について

西南学院大学入学について明確な意思をもつ人(学士・転・編入、転部・転科、専攻科、選科生を除く)のうち、経済的理由により修学困難な人に対して、学資を給付して大学での学業を継続させるために西南学院大学入学時給付奨学金制度を設けています。

※詳しくは、西南学院大学ホームページ(西南学院大学ホームページ→学生生活・学生サポート→奨学金制概要→西南学院大学入学時給付奨学金→2018年度入学時給付奨学金出願の手引き)をご覧ください。(http://www.seinan-gu.ac.jp/)

〔2〕西南学院大学入学時応急採用奨学金(無利子貸与)制度について

出願開始から最終入学手続き締切日の3日前までの期間に出願者の主たる家計支持者が失職、破産、事故、病気、死亡等により家計が急変し、入学時納入金の納入が極めて困難な人を対象にした西南学院大学入学時応急採用奨学金(無利子貸与)の制度があります。

詳しくは、2018年度西南学院大学入学時奨学金出願の手引き(P5)をご覧ください。

〔3〕日本学生支援機構奨学金 予約採用候補者の進学説明会

高等学校在学時または高等学校卒業後2年以内に日本学生支援機構奨学金に申込み、採用候補者となられている方を対象とした進学手続き説明会を次の通り開催いたします。必ず学生ご本人が出席してください。

日 時：①2018年4月13日(金)16時20分～

②2018年4月16日(月)16時20分～

①②は、どちらも同じ内容です。都合の良い日時に出席してください。

会 場：大学チャペル

持参物：①平成30年度大学等奨学生採用候補者決定通知書

②平成30年度大学等奨学生採用候補者の皆さんへ

③筆記用具

④大学等奨学生採用候補者決定通知書に「入学時特別増額貸与奨学金(日本政策金融公庫の手続き必要)」の記載がある人のみ次の3つの書類が必要です。

○日本政策金融公庫の「国の教育ローン」が利用できなかったことについて(申告)

○日本政策金融公庫の「国の教育ローン借入申込書(お客様控え)」のコピー

○融資できない旨を記載した日本政策金融公庫発行の通知文書のコピー

申し込み・ 問い合わせ	〒814-8511 福岡県福岡市早良区西新6-2-92 西南学院大学 学生課 厚生係 電話 092-823-3312 FAX 092-823-3328
----------------	---

〔5〕 災害等により被災された志願者への支援について

本学では、自然災害等により被災された方々に対し、経済的な理由で学修の機会が閉ざされることがないように、2018(平成30)年度西南学院大学入学試験において支援を実施することにいたしました。

詳細は本学ホームページ(入試情報ページ)をご確認ください。

問い合わせ	〒814-8511 福岡県福岡市早良区西新6-2-92 西南学院大学 入試センター入試課 電話 092-823-3366 FAX 092-823-3388
-------	---

〔6〕 予備校コード表

(北海道)	(富山)	天王寺 2718	(高知)
札幌予備学院 0102	中央(富山) 1602	浪速 2720	土佐塾 3903
代々木ゼミナール(札幌) 0105	(石川)	夕陽丘 2723	(福岡)
(宮城)	石川大学 1701	両国(大阪) 2724	河合塾(福岡) 4002
仙台YMCA大学 0403	中央(金沢) 1702	梅田 E C C 2725	北九州予備校(黒崎) 4003
文理 0404	(福井)	天王寺 E C C 2726	北九州予備校(小倉) 4004
(福島)	福井中央学院 1801	高槻 E C C 2727	九州英数学館 4007
有朋学園 0701	(長野)	代々木ゼミナール(大阪南) 2729	久留米ゼミナール 4010
(栃木)	松本大学 2004	河合塾(大阪) 2730	福高研修学園 4017
宇都宮セミナー 0902	(岐阜)	河合塾(大阪南) 2731	代々木ゼミナール(福岡) 4021
(埼玉)	河合塾(岐阜) 2101	(兵庫)	河合塾(北九州) 4024
一橋学院早慶外語(大宮) 1102	グリーンアカデミー(大垣) 2102	大道学園 2804	駿台(福岡) 4025
河合塾(大宮) 1106	(静岡)	神戸セミナー 2805	北九州予備校(博多) 4026
(千葉)	静岡学園大学 2201	神戸学館 2807	福岡学院 4028
市進 1203	静岡学園早慶セミナー 2202	神戸YMCA大学 2808	(佐賀)
河合塾(松戸) 1211	河合塾(浜松) 2207	コロンビア学院 2809	佐賀 4102
河合塾(千葉) 1212	(愛知)	姫路 2812	久留米ゼミナール(佐賀) 4105
(東京)	河合塾(千種) 2302	姫路YMCA大学 2813	(長崎)
河合塾(駒場) 1302	河合塾(桜山) 2303	文教ゼミナール 2814	佐世保高等 4201
河合塾(千駄ヶ谷) 1303	河合塾(豊橋) 2304	(和歌山)	長崎高等 4204
神田 1304	河合塾(名古屋) 2305	和歌山英数学館 3001	野田ゼミナール 4205
新宿セミナー 1310	河合塾(名駅) 2306	(岡山)	北九州予備校(長崎) 4207
駿台 1312	河合塾(則武) 2307	英数学館(岡山) 3301	(熊本)
駿台(四谷) 1313	代々木ゼミナール(名古屋) 2309	岡山進研学院 3303	熊本予備校 4301
中央ゼミナール 1316	早稲田(名古屋) 2310	(広島)	壱溪塾 4303
東京第一学園 1319	(京都)	河合塾(広島) 3401	北九州予備校(熊本) 4307
一橋学院早慶外語 1321	関西文理学院 2601	広島英数学館 3402	(大分)
武蔵高等 1322	京都YMCA大学 2606	広島YMCA大学 3403	大分府内学園 4402
代々木ゼミナール(代々木) 1327	研学キャンパス 2608	福山英数学館 3405	中津育英学館 4403
両国 1329	進学ゼミナール 2609	広島中央 3408	北九州予備校(大分) 4404
早稲田 1330	駿台(京都) 2610	河合塾(福山) 3410	(宮崎)
早稲田ゼミナール 1332	河合塾(京都) 2614	(山口)	宮崎栄進学院 4501
お茶の水ゼミナール 1334	京都 E C C 2615	鳳鳴学館 3503	北九州予備校(宮崎) 4502
河合塾(池袋) 1335	(大阪)	北九州予備校(山口) 3504	(鹿児島)
河合塾(立川) 1336	エール 2705	(徳島)	鹿児島高等 4601
(神奈川)	大阪 2706	後藤大学 3601	第一東大医進 4602
城南 1403	大阪北 2707	(香川)	北九州予備校(鹿児島) 4604
横浜YMCA大学(菊名) 1410	大阪YMCA(上町) 2708	高松高等(高松) 3701	(沖縄)
河合塾(横浜) 1414	大阪YMCA(土佐堀) 2709	高松高等(丸亀) 3702	那覇尚学院 4703
グリーンアカデミー(藤沢) 1415	関西ゼミナール 2713	(愛媛)	北九州予備校(沖縄) 4705
トフルゼミナール(横浜) 1416	駿台(大阪) 2717	愛媛研修学院 3801	(その他) 9999

〔7〕 個人情報の取扱いについて

本学では「西南学院個人情報保護規程」を制定し、2005（平成17）年4月1日から出願者の個人情報について以下のとおり取り扱っています。お願いいただく際は、これらの取扱内容についてご了解いただいたうえで出願書類をお送りくださいますようお願いいたします。

1. 個人情報の利用目的

出願手続きにおいてご提供を受けた志願者の個人情報、または入学試験の成績・合否判定結果等の個人情報については、本学において次の目的のために利用いたします。

- ① 受験手続き関係（志願者データ作成、受験票作成等）
- ② 合否判定関係（合否判定データ作成、入試結果通知票作成等）
- ③ 入学手続き関係（合格者データ作成等）
- ④ 調査統計関係（入試統計資料作成、入試説明会用資料作成等）
- ⑤ 広報関係（広報取材等）
- ⑥ 上記①～⑤の連絡、通知及び発送

2. 管理方法

- (1) ご提供を受けた個人情報及び入学試験の結果等の個人情報は、紙もしくは電子データのいずれか、またはその両方の形態で保存いたします。
- (2) 個人情報の管理にあたっては、「西南学院個人情報保護規程」及び「西南学院個人情報の取扱手引」に則って、適正に利用、管理、廃棄いたします。

3. 情報の開示、提供等について

- (1) 本学では、原則として個人情報は第三者に開示・提供いたしません。ただし、上記1の利用目的に係る業務処理において本学入試センターより当該業務の委託を受けた業者（以下、「委託業者」といいます）に対して、ご提供を受けた個人情報及び入学試験の結果等の個人情報の全部または一部を提供することがありますが、その際には、外部への遺漏、逸失、改ざん等の不適切な取扱いが生じないようにいたします。個人情報は本学が明示する用途のみに使用し、委託業者がその委託業務を超えた利用はありません。
- (2) 受験者の入試合否結果は、原則として受験者本人以外にお知らせすることはありません（ただし、出身の高等学校等には、進路指導等の参考として結果を通知することがあります）。また、入試成績については、一般入試についてのみ、受験者からの開示請求を受けて、本学所定の手続きにより対応いたします。
- (3) 入試統計資料等において情報を外部へ公表する場合は、個人が特定されることのない形で公開します。

4. お問い合わせ

個人情報の取扱いに関するお問い合わせ等については、本学入試センター入試課（092-823-3366）または総務課（092-823-3201）へご連絡ください。

（受付 8：45～17：20、土日祝祭日を除く）

大学のことや入試に関するお問い合わせは

 **西南学院大学**

入試センター 入試課

〒814-8511 福岡市早良区西新6丁目2番92号
TEL (092) 823-3366 (直通) FAX (092) 823-3388
<http://www.seinan-gu.ac.jp/>